

武蔵野市立保健センター増築及び複合施設整備アンケート結果

1 アンケート概要

(1) 実施方法

- ①市公式ホームページ上の回答フォームによる回答
- ②用紙による回答（配付場所：保健センター、市役所、子育て支援施設、教育支援センター、みどりのこども館、各市政センター、各図書館、各コミセン）
- ③その他アンケート協力団体等：武蔵野市立保健センター運営委員会、（一社）武蔵野市医師会、（公社）東京都武蔵野市歯科師会、（一社）武蔵野市薬剤師会、（公社）東京都柔道整復師会武蔵野支部、（公社）東京都助産師会三鷹武蔵野地区分会武蔵野市助産師会、（公財）武蔵野健康づくり事業団（健康づくり推進員・はつらつメンバー）、青少年問題協議会地区委員、地域子育て支援拠点施設運営団体、PTA連絡協議会、つくしんぼの会、民生児童委員、けやきコミュニティ協議会、中央コミュニティ協議会、大野田福祉の会、北町5丁目町会、武蔵野中央会、大野田商店街、武蔵野福祉作業所

(2) 実施期間

令和5年6月15日(木)から同年7月18日(火)まで

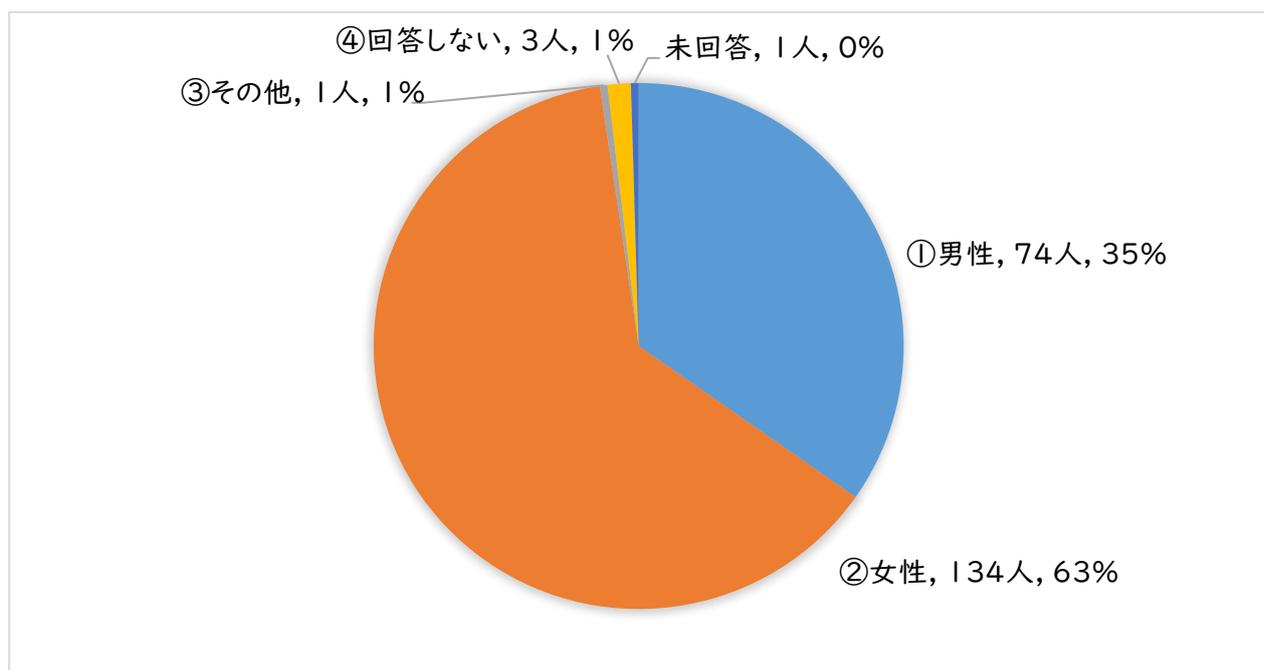
(3) 回答数

213件（うち、回答フォームによる回答148件、用紙による回答65件）

2 質問内容及び回答内容

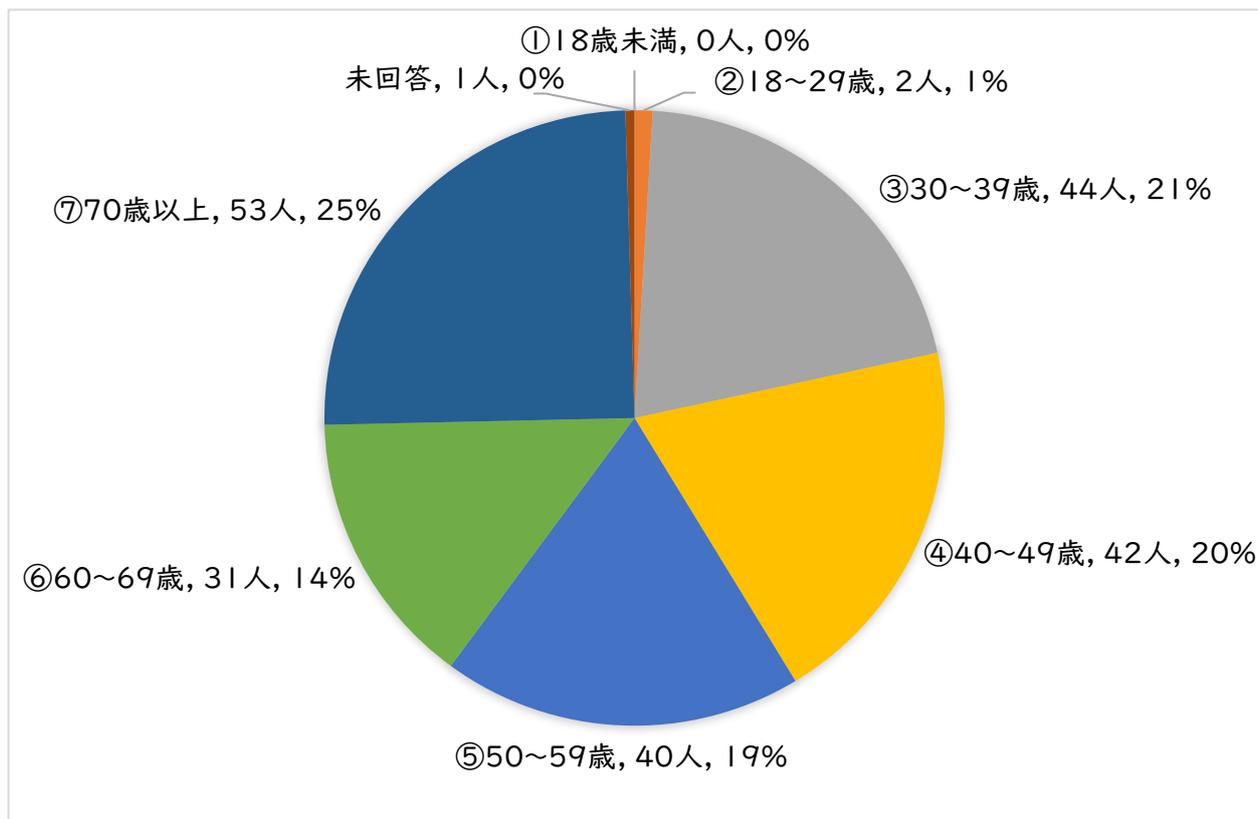
Q1 あなたの性別を教えてください。

(単数回答)



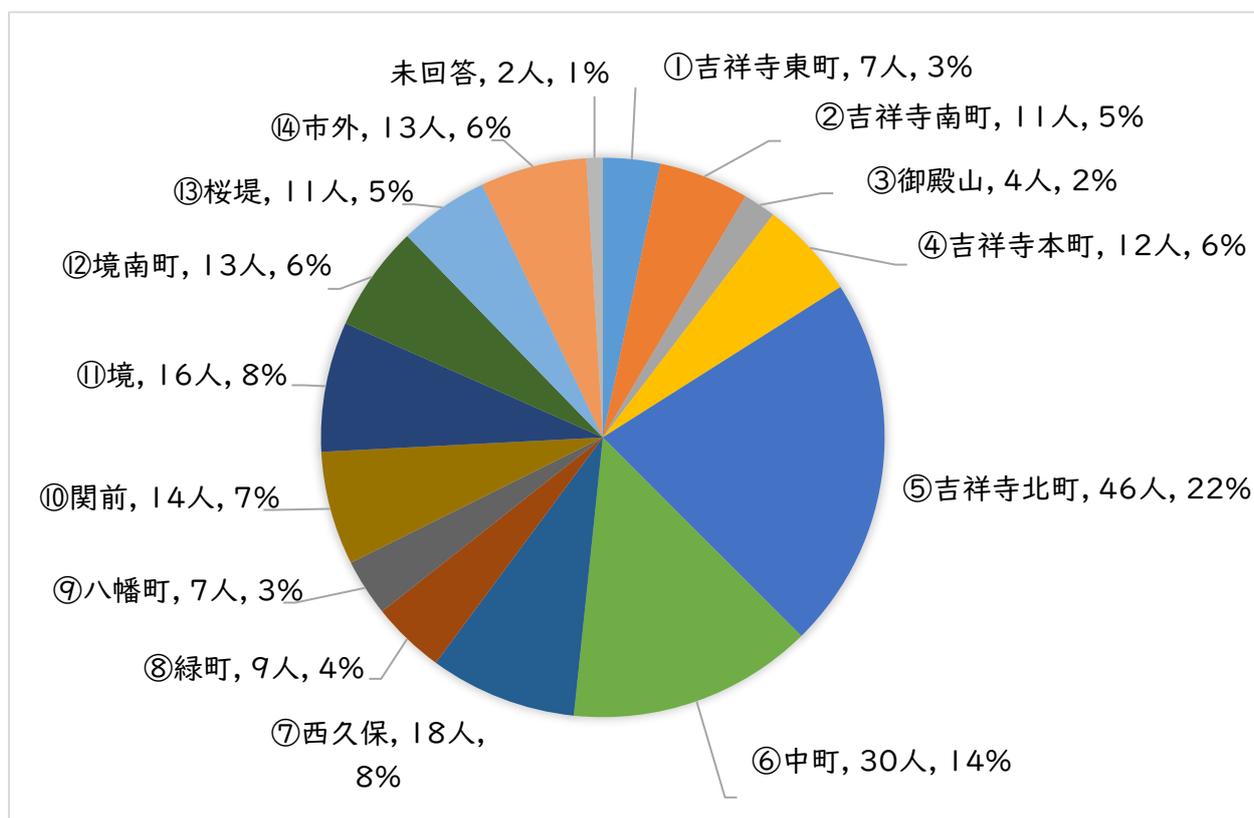
Q2 あなたの年齢を教えてください。

(単数回答)



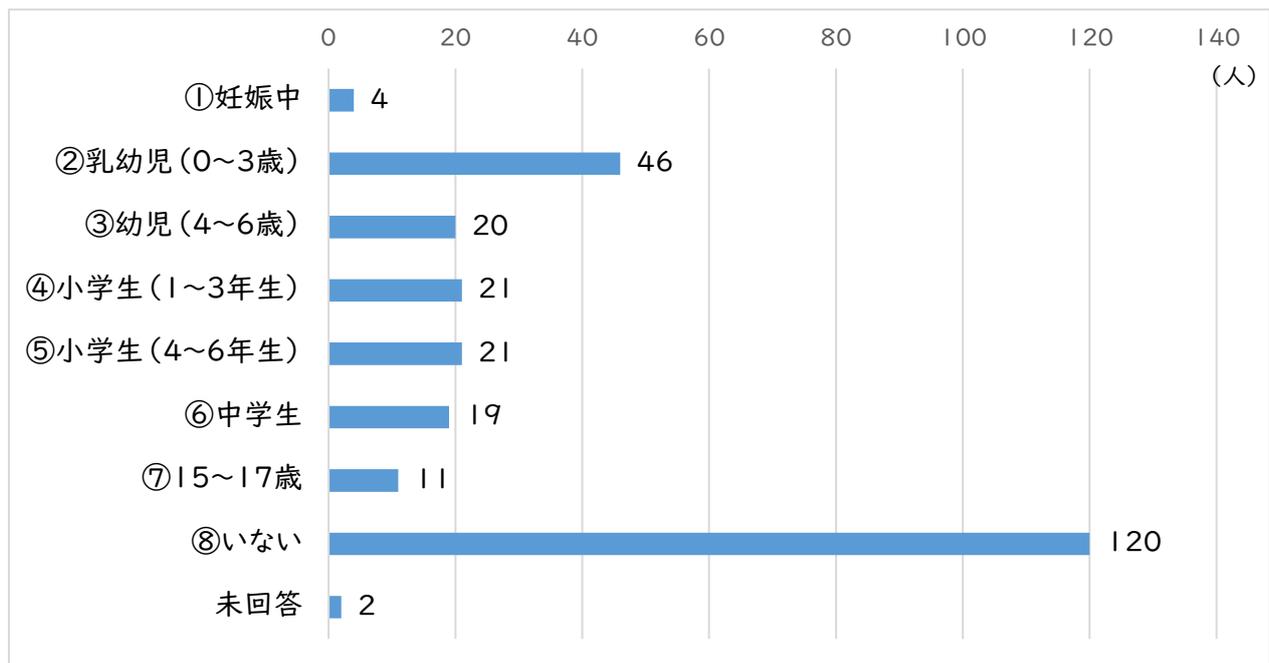
Q3 あなたのお住まいを教えてください。

(単数回答)



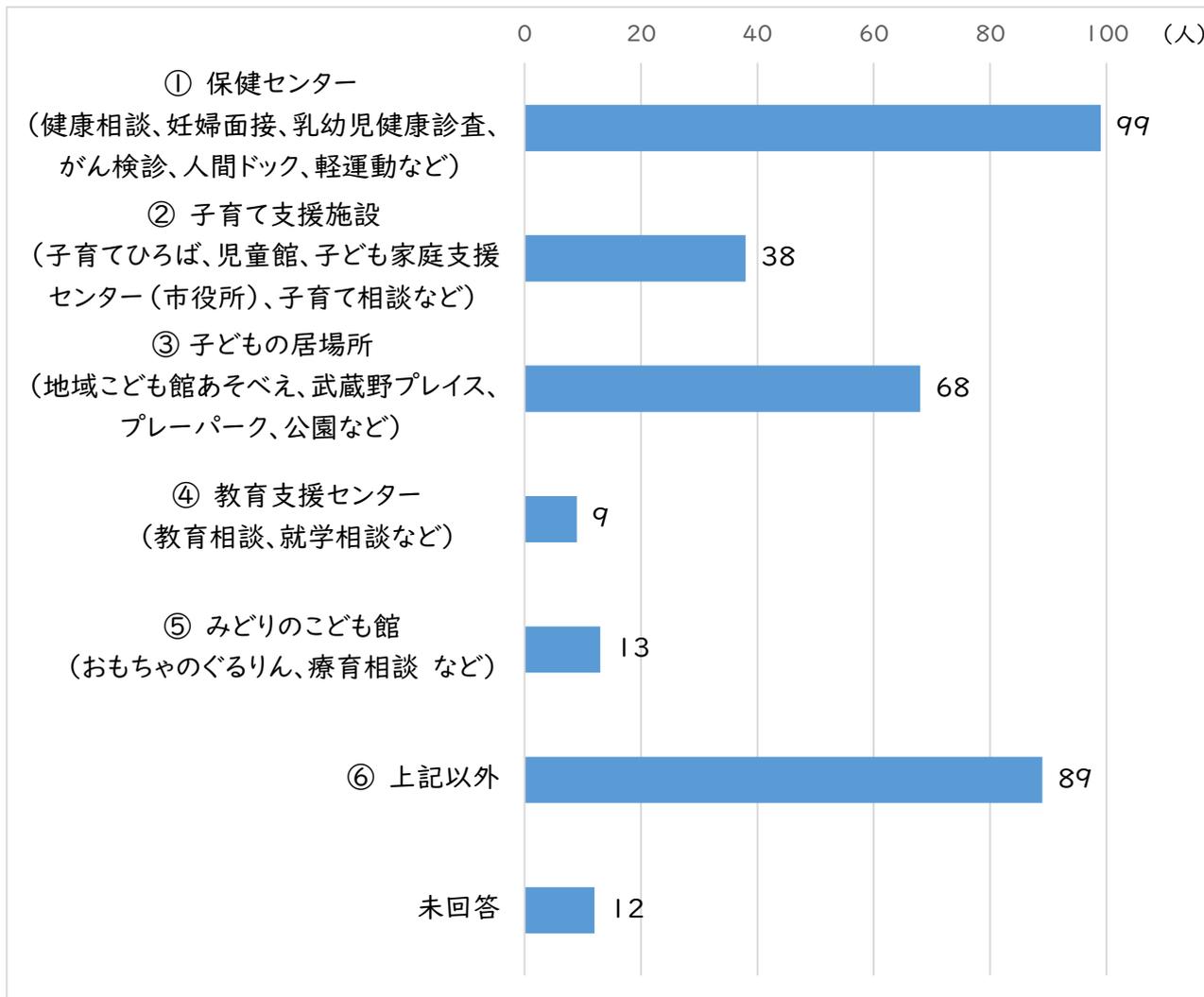
Q 4 現在、あなたに18歳未満のお子様はいますか。いる場合は年齢を教えてください。

(複数回答)



Q5 あなたがよく利用する市の施設を教えてください。

(複数回答)

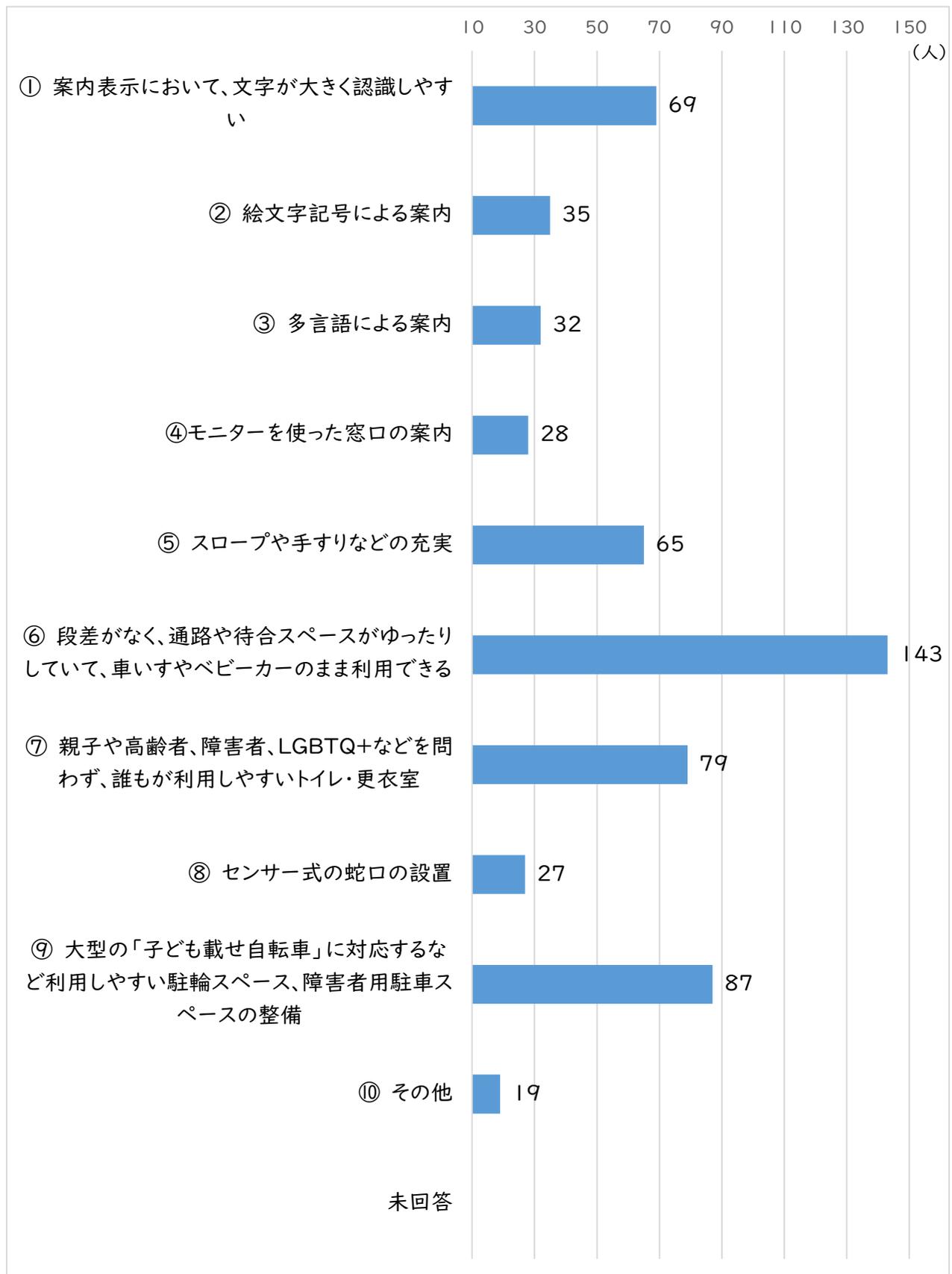


⑥上記以外 (自由記述)

※原則、原文のまま記載。誤字等と見受けられるものは一部修正し集計しています。

図書館 (35人※うち、中央図書館12人)	市民会館 (3人)
総合体育館、陸上競技場 (35人※うち、総合体育館33人、陸上競技場2人)	市営球場、野球場 (2人)
コミセン (31人※うち、けやきコミセン2人、境南コミセン3人、西久保コミセン1人、西部コミセン1人、中央コミセン2人、南町コミセン1人、本宿コミセン1人、本町コミセン1人、御殿山コミセン1人、地域健康クラブ1人)	商工会館 (2人)
市民文化会館 (11人)	井の頭文化園、水生物園 (1人)
武蔵野プレイス (11人)	運動施設 (1人)
プール、温水プール、市民プール (9人)	桜堤児童館 (1人)
高齢者総合センター (7人)	社会活動センター (1人)
エコリゾート、クリーンセンター (6人)	障害者総合センター (1人)
市政センター、市政窓口 (6人)	スイングホール (1人)
市役所 (6人 ※うち、保育課1人)	第三小学校の小体育館 (1人)
	びーと (1人)
	美術館 (音楽室) (1人)
	プレーパーク (1人)
	保育園 (1人)
	武蔵野公会堂 (1人)
	0123吉祥寺 (1人)

Q6 新施設はユニバーサルデザイン、バリアフリー設備を取り入れた施設としますが、その実現のためには何が重要と考えますか（3つまで選択可）
(複数回答)

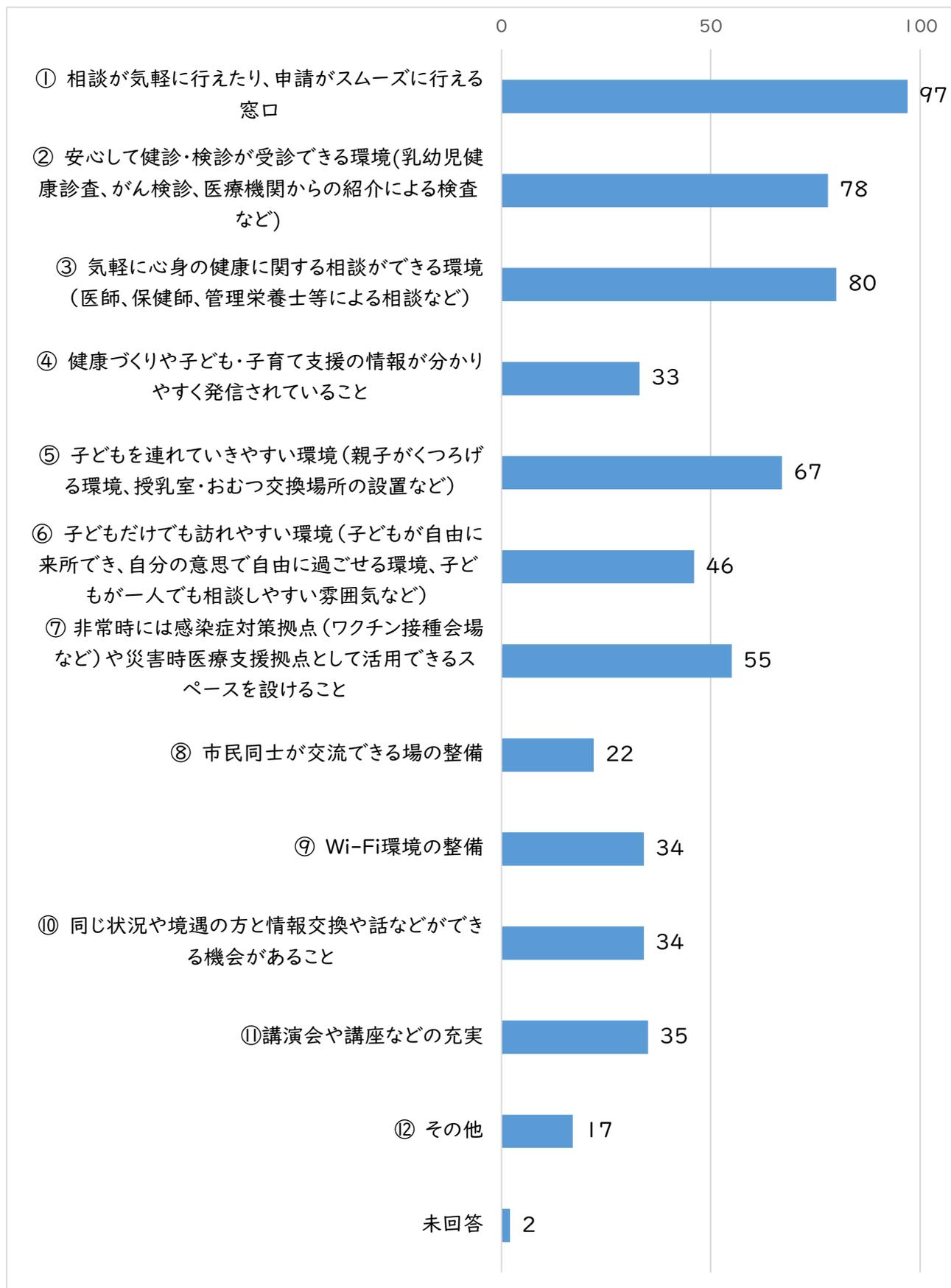


⑩その他（自由記述）

※原則、原文のままアンケート受付順に記載。所属や誤字等と見受けられるものは一部修正・補足し記載をしています。

No	自由記載
1	3つではなく、すべて必要なのではないかと感じました。コストで選択しないといけないのであれば話は別ですが。
2	子どもが自由に遊べるスペースや、イスやベンチなど、とにかく広々としたスペースが必要。荒川区の新しい施設（図書館や児童館）はとても参考になるのでぜひ視察して欲しいです。
3	一般用駐車場
4	乳児検診の時トイレが使いにくいです。一緒に入れるトイレがあったらいいです。
5	子供のオムツ替えスペースの充実。既存施設では3階に男性トイレがないので、多機能トイレではなく、男女別のトイレを各階に設置してほしい。
6	誰もが利用しやすいトイレや更衣室も必要かもしれませんが、女性が安心して使えるトイレと更衣室も必要だと考えます。昨今の公共トイレにおける女性トイレの減少ぶりなど危機感を感じています。
7	<⑦トイレ・更衣室を選択>必ず利用すると思われるので、ある程度の数と使いやすさは考慮して頂きたい。
8	エレベーター 自転車置き場
9	色弱者にも分かる案内図がほしい例) 赤で現在地を標さない。
10	授乳室があること、熱中症対策で水分補給などが出来ること、子供乗せ電動自転車などの大型自転車が止めやすいこと、車椅子が入りやすいこと、清潔であたたかい雰囲気であること
11	色。いくら大きい文字でも色遣いにより見にくいことが多々あるから。工夫が足りないと感じる。
12	モニターでの案内に頼らず、困った方を見つけて対応できる人手
13	トイレの入口（男女のわかる所）にドアがなく入りやすいトイレ、ロボットとかの案内
14	絵による案内も必要だと思うが変に特定の人に気を使うのでなくわかりやすさ重視でない逆効果になる。トイレも女性や子供が安心して使えることを重視してほしい。
15	点字による情報の共有化
16	オンラインサービスによる文字起こし・音声翻訳・文字翻訳などバリアをクリアできることが増えてくると思う。通信環境は整備しておいたほうがいいと思います。
17	接地歩道への車乗り入れ防止柵取付
18	エレベーター、エスカレーターの充実
19	親切な受付
20	開放的な空間、随所にソファやベンチなど腰を下ろせる場所
21	コンシェルジュのような話しかけやすい受付

Q7 新施設は、「全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点」を基本理念としています。「全世代の市民が利用しやすい施設」として、どのような点が重要と考えますか。(3つまで選択可)
(複数回答)



⑥その他（自由記述）

※原則、原文のままアンケート受付順に記載。所属や誤字等と見受けられるものは一部修正・補足をして記載をしています。

No	自由記載
1	市の施設として矛盾するかもしれませんが、何も用事がなくても立ち寄れる施設だと個人的にはありがたく思います。例えば、外に子どもとお散歩に行くのでも、公園に行ける日は良いですが、雨の日や猛暑の日など家で飽きてしまう子どもを連れて行けるなどだとよい気がします。たまたまフラッと立ち寄って、市からの有益な情報（今日の夜この離乳食を作ってみようと思いつく、鼻が詰まっているけど良い対応方法が知れるなど）が得られるとよいと思いますし、少しほっとできたり、気が休められるような場所（うるさくしても子供と一緒にご飯が食べられる食堂がある、少し子どもから目を離してコーヒーが飲めるなど）であつたらなお良いのではないかと思います。子どもを中心とした記載になっていますが、同じように高齢者でもフラッと来れて、気づきが得られて、気持ちよく過ごせる場所とも両立できるのではないかと思います。
2	24時間、土日にも様々な手続きがウェブ上で完了できること
3	⑩はプライバシーの観点からダメでは。
4	子ども(小学生以下)を十分に遊ばせられる遊具が沢山あり天候に左右されない設備にランチも食べられる場所があれば最高！
5	相談や問い合わせ等で訪れたことの秘匿が守られること
6	何となくでもいられる場所。公園みたいに公園は雨の日は無理なので屋根がある施設で居場所があると良い。単にテスト勉強など個人的なことをするのではなく障害者や子ども、お年寄りなど周りの人が理解しやすくなるための勉強、理解が出来る本やDVDなどがおいてあると良い。
7	3つまでしか選択できなかつたが、wifiも当然必要だと思っています。子ども子育て世代が通いやすい施設は、どの世代にとっても優しい施設になると思います。
8	子どもや高齢者だけでなく、学生や社会人も利用できる時間帯。一人暮らしの高齢者に付添サービス付き相談会。申込が同じ人が定期的に継続利用可能な健康教室。
9	高齢者が集える場所。茶飲み話ができる場所。将来の為にも必要ですが、高齢者にも厚い対応を願いたい。
10	土・日・夜間等にも利用できること、全世代なら働く世代も…
11	偏った思想に影響を受けない事が大事
12	新施設は不要だと思う
13	おしゃれなカフェがあること
14	相談したことが、少しでも・何らかの形で解決に近づくことができる環境・仕組み。
15	全世代の市民が利用できるようにするには… 平日利用できない人も土日に利用できるような施設でなければならないと思います。 ※健康診断、人間ドック、子育て相談を土日に受けたい 妊娠中、3歳児検診、発達相談等仕事を休んで講習に参加したがただでさえ、体調不良で休みがちな時期にさらに休みを取ることに辛さを本当にわかってない 本当に寄り添うつもがあるのか疑問 母乳が不安定な時に電話で相談したら母乳外来を受けてくださいとしか言われなかつた… なんのためにそちら助産師さんいるんですかね？かなりがっかりしました 新生児の時に一回しか訪問されずそのあとは放置… とりあえず一回訪問したからいいだろうという感じに見えました ちなみにすでに子供が生まれた後にこれから産む人向けの色々な金銭的支援が出てきたが子供を産むときだけが大変なのか？育てる間ずっと大変なんです… 全ての子育て世代にもっと金銭的な支援をしてほしい

16	新施設の規模について、そもそも計画の規模が大きすぎる。もしも新しく作るとしても、現在は利用者が限定的で、平日昼間に行ける人にしか現状では利用できず施設を使えないため、不公平に感じる。日曜祝日(せめて隔週でも良い)にも利用できるようにせめてしてほしい。平日～土曜に働く人、朝から夜まで働く人、育児や介護などでなかなか休めない事情がある人でも利用できるようにせめてしてほしい。
17	今は別になっているが、ハビットなどが行っている療育やその相談機能もここに必要。子どもの療育や相談に使える部屋がいくつかあり、また多目的な空間としても使えるような場所。
18	上記すべてそうと思えるが、日常と有事、日常の中の困りに対応できる場作り
19	ゆったりくつろげる屋外スペースの確保

Q8 新施設において、保健センター・子ども子育て支援施設・教育支援施設の各機能が複合化、児童発達支援センターとは機能連携がされることで、期待することはありますか。またその他ご意見があればご記入ください。
(自由記述)

※いただいたご意見を抜粋して記載。類似するご意見はまとめたの記載とさせていただきます、()内は人数を示しています。所属や誤字等と見受けられるものは一部修正・補足し、記載をしています。

No	自由記述 主な回答内容
1	子どもを連れて利用しやすいよう少し休憩できるスペースがほしい。
2	子どもを連れて利用しやすいよう広めの駐輪場がほしい。
3	土日にイベントがあると参加しやすい。イベントには子育て支援の担当職員がいると質問できてよい。
4	遊び場を期待する。※市補記
5	多世代や障害者、それぞれの境遇、立場の人たちが利用、交流ができる場所であってほしい。お互いの交流が生まれるような施設であるよう工夫すべき。施設としての機能だけでなく、利用者同士が支え合える場所にしてほしい。元気で健康に長生きできるような場所を提供し、市民が気軽に利用できる施設になるよう期待する。(5名)
6	誰でも気軽に利用できる、妊娠期から切れ目のない支援が受けられる施設にしてほしい。(4名)
7	保健所の役割に期待する。※市補記
8	ハビットをよく利用しているが、交通の便が悪いので、保健センターの場所の方がまだ行きやすい。
9	もっと早くから複合化にすべきだったと思う。
10	子育て世代対象に偏った用途になっている。市民が生涯を通じて健康支援を受けられる施設にすべき。介護や保険証の疑問はここでは解決しないということか。「子ども以外は保健センターまで行ける健康な人だけ」が対象というのは納得はいかない。シニアにとっても利用しやすい施設を期待する。子育て支援と高齢者支援のシナジーを考えられるとよい。(6名)
11	相談日が決まっていて使いにくい。
12	今まで通り、子どもの発達などについて相談しやすい環境を期待する。
13	進学や教育に関するイベント(人気校の学校説明会や人気講師、研究学舎などの学習イベント等)が実施されたら嬉しい。
14	ファーストコンタクトとなるスタッフに一番優秀な人材を置くこと。新施設の目的・機能を十分に理解し、各部署との連携もスムーズに行い、来館者に対して気持ちよく接することのできる人材が必要。
15	一か所に集約されることで「ここにすればまず話を聞いて支援につなげてもらえる」「関連部署で情報を共有してもらえると」という安心感をもって相談ができる拠り所になることに期待する。(7名)

16	駅から少し離れた場所になるので、移動方法について配慮をしてほしい。ムーバスのルートができるとうありがたい。(5名)
17	ベビーサロンのような保健師や助産師などの専門家に相談できる機会が増えるとよい。(2名)
18	保健センター新施設の機能配置(案)賛成。
19	保健センター(保健師・管理栄養士)と健康づくり事業団(医師・看護師)の職員を増員してほしい。
20	子育て中の世代が孤立しないよう他の機関との連携を積極的に進めてほしい。
21	一人暮らしの高齢者や子どもが安心して健康に生活できるように健康診断や健康相談を充実させてほしい。
22	よい流れかと思う。三鷹市のハピネスセンターのように、療育施設が健康保健センター内にあることを望む。三鷹市在住時の方が組織として療育現場と市との連携がとれていて、回答も早かったように思う。専門分野内一つ一つの組織が離れれば離れるほど、つながりが薄れ、当事者意識の薄い回答になりやすいと思う。
23	新しいタイプの取り組みを大いに期待している。
24	周りを不愉快にする人への迅速に適切な対応を取れる組織としてほしい。
25	子どもの発達上で何か問題を抱えたときや複合的な課題があるときなど子育て関連の窓口が別々に存在すると、どこに行くのが適切なのか迷うこともある。各機能が複合化し機能の連携がされれば、1箇所の施設に行くことで適切な支援が受けられたり問題解決の糸口がつかみやすくなると思う。気軽に安心して相談できる総合窓口があり、そこから適切な専門機関が連携して対応できるとよい。(7名)
26	発達支援が必要な親子への理解が進み、学校などでも適切な対応ができるとうよい。
27	人材が一番重要と思う。人材育成が今からでも必要。(2名)
28	家庭内のことは外部ではわかりにくい。どんな小さなことでも見逃さない専門的な機能があるとよい。
29	相談者や申請者が同じ説明を何度も行わず、分野横断的に気軽な相談や適切な支援が行われるよう、情報の共有化など内部で連携を取ってほしい。一人の子どものサポートを横のつながりで情報共有してくれるとうありがたい。(7名)
30	親のサポートの充実。親の会のサポート事業を実施してほしい。※市補記
31	発達障害児のための専門知識がある先生による放課後補修教室があるとよい。
32	武蔵野プレイスみたいな建築も良くて居心地がよい空間でベビーカーでの移動やトイレもしやすく子どもを連れて学べたり楽しいイベントも行われるような場所を期待する。
33	理学療法士の常駐など、定期的にも産後の体のケアや相談等ができるとうよい。子育て世代が多いこともあるのでお母さんへの支援が手厚くなるのはすごくありがたい。
34	子ども子育て支援施設に期待したい。同世代の子ども同士の交流の機会が増えると嬉しい。
35	申請などがスムーズに行くこと。スマホによる申請・手続きのできる仕組みをつくってほしい。(2名)
36	栄養士が考える子育て食事メニューと料理教室(男性向け)
37	役所仕事ではなく、サービス精神あふれる対応。
38	メンタルヘルスの相談を各世代別に相談コーナーを設け、同じ悩みを持つ人同士が交流できる機能をもったら良いと思う。ここに来れば何か道が開けると希望を持てるように、相談者も臨床心理士などの専門職以外に、僧侶や牧師、教職経験者、スクールカウンセラーなど相談日を設けてオープンするのもよいと思う。
39	相談と子どもの遊ぶ場が近くにあることで、一人で考えすぎない・お互いに気付き合う、発達の凹凸があっても受け入れやすい環境になっていくことを期待する。グリーゾーンの子どもへの理解や親の心がまえができていくこと。
40	親子で健診(大人も子どもも)できること。
41	幼保施設から小学校への情報がスムーズに伝わること。
42	誰でも情報を得られる表示や案内があるとよい。(2名)

43	選択肢として、色々な相談窓口を残してほしい。一カ所にまとめられてしまうと、他の意見も聞きたいときに行き場所がなくなってしまう。
44	市民目線からワンストップサービスができるように期待する。
45	複数の部署にまたがるような相談事に機能連携により速やかに対応することで最悪の事態になる前のサポートになるように期待する。(2名)
46	中学生や高校生の悩み事を気軽に話したり、相談できるスペースがあるとよい。子どもの自習室のとなりに体の事の悩みを相談出来るようなスペース。子どもが行きやすいように明るいオープンな雰囲気がよい。
47	横の連携が密にとれるようになるとよりムダのない効果的なプロジェクトが生まれると思う。
48	子どもが成長していくうえで支援の見通しが持てる情報が得られたら安心する。
49	子育て支援施設が持つ情報を共有し、共有した情報をもとに円滑な支援がされるとよい。
50	少子化問題を解決する為には、子ども子育て支援施設は必要と思う。
51	地域の子ども食堂や、大人から子どもまでの居場所づくりなど連帯の活動になることを期待する。
52	日照権の問題は誰もが不満のない解決を図るべきと考える。
53	利便性が良くなると思う。
54	保健センターの拡充、複合化の必要性が感じられない。増築して空いたスペースに子育て支援施設を追加するだけでビジョンがない。当初の計画通り改修のみでよい。高額な建設費用や建設後の運用コストがかかるため、遠い所に一箇所あるより、家のそばで市民それぞれに合わせて、民間施設や病院など選んで利用できるようにしてほしい。行政に横の繋がりは期待できないので、離れた別の施設でも問題ない。(5名)
55	機能連携されるということは、情報の漏洩リスクも高まることだと思われるので、情報のセキュリティは守ってほしい。
56	特定妊婦、いじめに苦しむ児童など本当に助けが必要な人々に対して担当が違うなどと逃げずに正面から立ち向かう施設であってほしい。
57	機能連携として横の繋がりのスムーズ化はちゃんとしてもらいたいが、各々の専門性の深堀もはっきりしてほしい。
58	児童発達支援センターも複合化されることが望ましいと思うが、機能連携がスムーズに、かつ確実にすすむ仕組みを作ってほしい。
59	児童発達支援センター(ハビット)の土日対応を強く希望する。情緒面の療育や運動療育など(面談や検査を含む)は平日実施がメインとなり仕事との両立が困難。民間の療育施設は土日はいっぱい入ることができない。
60	不登校児(家族)のケアや居場所作りも積極的に拡充してほしい。低学年の不登校児でも通えるような安心して過ごせる居場所(保護者の送迎が不要)も必要だと感じている。
61	子育てひろばなど、子どもが遊べる場所の機能も合わさることで、健診前後に遊ぶこともでき、また新施設内の子育てひろばに普段から通うことで、行き慣れた場所となり、各種相談事がしやすくなると期待している。
62	悪天候時に子どもたちに運動させてあげられる場所になればいいと思う。
63	児童発達支援センターも含めた複合化に変更してほしい。機能連携がされるとなっているが、場所が離れていることで難しさが残ってしまう。今の場所は残しつつも、児童発達支援センターとして使いやすく緊急時にも対応できるスペースが同じ場所にあることが必要。
64	行けばホッとする、子どももあそこなら行きたいと思えるスペース作り、堅苦しくない内装をお願いしたい。緑があると良い
65	子ども関連の思想の機関が含まれていることに不安を感じる。親の目の届かないところで、子どもがアドバイスを受けるのは避けるべき。
66	子どもの困り感に対し親は未熟。親子で困ってしまうので、どこかで目があることが安心できる。
67	チャレンジルームを置き、全市内から不登校者を一カ所に集めるのは不適切。遠方からの通所を強いて、学区から離れて不登校を定着させる愚策。現状の分散設置のままでよい。

68	みどりの子ども館は今までの所のようにですが、どのように連動するのか。
69	子どもが大きくなるまで（その後）、特にハンディキャップのある子への継続的な支援ができるように希望する。
70	施設全体の情報を提供でき、連携のための部署を位置づけるようにしてほしい。
71	子ども子育て総合窓口と成人健診エリアが同じ場所にあることでその世代の検診の受診が増えると思う。
72	期待することは大いにあるが、個々の施設がひとつの建物一カ所に集中してしまうことへの懸念の方が大きい。近所に住む子どもや親たちにとっては通いやすくメリットも大きいだろうが、離れた地域に住む市民の利便性を考えると、ちょっとどうかな？との疑問は拭えない。
73	若い世代が足を運ぶ機会が多くなると思うので、健康づくり支援センターをPRできる機会が増えるのではないかなと思う。
74	市のサービスだけでなく、民間や他団体との連携を強化し、サービス向上をしていくと良い。
75	申請や健診など一箇所で済むようになるとよい。
76	子育て時期に健康に関する事、教育に関する事の複合的な情報が一つの場所で得られる点
77	障害のあるなしに関わらず、すべての子どもと親が安心して利用できる施設であってほしい。

Q9 別紙「アンケートのお願い」の「新施設の機能配置(案)」をご覧になり、良いと感じた点がありますか。また気になる点がありますか。 (自由記述)

※いただいたご意見を抜粋して記載。類似するご意見はまとめたの記載とさせていただきます、()内は人数を示しています。所属や誤字等と見受けられるものは一部修正・補足し、記載をしています。

No	自由記述 主な回答内容
1	子どもの権利擁護機関は抵抗なく行けるような雰囲気づくりをしてほしい。閉鎖された感じや雰囲気があると行きづらいので、明るく子どもが行きやすい感じにしてほしい。(2名)
2	急にトイレを使いたい時公共施設に入る事もあるので、入口に近く分かりやすいと助かる。
3	今まではあちこち行かされてどこに行けば必要な援助が受けられるのかわからなかったが、まとめて子どもの問題を解決できる施設になれば、安心できると思う。
4	良くできている。賛同する。(3名)
5	チャレンジルームが地下で閉塞的な感じがする。人目を気にするため地下にしたのか。今の場所は地下で行きたがらない子どもがいるときく。地上など陽のあたる場所にしてほしい。(6名)
6	駐輪場は来館する人数にあった台数を確保してほしい。(4名)
7	各施設がきちんと連携をとり対応できるように、ハード面だけでなくソフト面でも複合施設の利点を活かせるようにしてほしい。
8	若い世代では、個が重要になり地域でのつながり薄くなっている。ある意味、建物をつくり、参加しやすい窓口をつくるのは、いい方法になる。
9	将来ウイルス発生が考えられるので感染症の専門家の増員をお願いしたい。
10	カフェがあるとよい。ベビーカーでランチができるお洒落な場所がほしい。(2名)
11	駐車場のスペースが少ないように感じる。雨天時には車利用をしたい。(2名)
12	コロナ時、武蔵野市に保健所がないことが大変不安だった。緊急時に備える施設ともなりそうなのがよいと思う。また、今までの保健センターの良さを失わない施設であってほしい。
13	子育て重視はたいへん結構だと思う。
14	新施設の配置案は細かくて見にくい。字が多い。(2名)
15	配置案に辿り着けなかった。
16	東側にある公園と行き来ができるようにしてほしい。
17	チャレンジルームの配置はよいと思う。窓を配置するなど地下でも明るい空間にしてほしい。(3名)
18	子どもの権利が大事にされてほしい。

19	子どもだけでも訪れやすい施設、子ども子育て世代が通いやすい施設にしてほしい。
20	目に見える施策が欲しいと感じた。
21	多目的トイレやシャワールームとシェルター施設などを充実させてほしい。
22	利用しにくそう。ワクワクするものが何もない。宝の持ち腐れになる。
23	エントランスフロアは非常時対応の拠点とするなら、固定的な用途とせずに、全世代を対象にイベント、展示などを随時リニューアルして行うことを希望する。
24	子育てひろば、軽運動室などの機能は、健康保健の統括拠点に置くより、各地域に平等に設置したほうがよく、統括拠点としての機能としてあるべき機能を吟味したほうがよい。市民がワンストップで行政サービスが受けられるよう、精査して集約する機能を決めてほしい。
25	高齢者または機能障害者を視野に入れたスロープ、手すり、エレベータ等考えられていると思います。
26	現在保健センターで行われている健康体操などの受講ができて、グループ等での自主的な利用が可能な鏡のあるスペースがあって欲しい。セルフコンディショニングに興味のある人が増えているが、コミセンにはなかなか利用できるスペースがない。
27	乳幼児の健診エリアがとても広く行きやすいと感じた。
28	エントランスフロアに小学生だけで遊んでいられるような作業スペースなどがあると良い。
29	武蔵野市がさらに住みやすく良い環境になりそう。
30	エントランスフロアが広く入りやすいつくりになっていてよいと思う。全ての機能が全てはいるのかは疑問に思う。どのような配置になるのか楽しみにしている。(3名)
31	「子どもだけでも訪れやすい環境」とはどのような環境になるのか興味がある。
32	子どもの成長段階において生じる問題に適切に対応するには、細分化された窓口が必要。1つの施設で対応できれば、利便性があるし、あちこちたらい回しされないで、より適切な診断、判断が見通せる。利用する際、待ち時間が長くなく、気軽に利用できることを考慮することは必要。
33	「暗い、古い、狭い」保健センターのイメージが強いので日の光がたくさん入るような大きな窓で明るくなることを期待している。
34	相談室のスペースが広くとられているところが良いと思う。
35	どのような機能配置になるかがわかりやすい。
36	オープンなスペースは親子で訪れやすい感じになりそうで嬉しい。広々してゆったりすごせる感じになるとよい。チャレンジルームや子どもの権利擁護機関も安心してすごせる場になればよいと思う。子どもの権利擁護機関は、このような施設があるということの子や親、学校などへ分かりやすく情報発信すること、子どもが直接利用しやすくなる手立て(Tel相談やメール、LINE相談、直接来所など)、誰でも利用しやすい名称をつけた方がよいと思う。
37	近隣の日照に配慮し、3階部分の一部を4階とし、日影規定を確保するのは良いと思う。又、建物と隣地境界線迄の空間が10.5mあるので明るく良いと思う。
38	チャレンジルーム 親の貧困にまつわる子どもの貧困が地域的に課題になっているので。
39	4階案の日照問題およびうさぎ山公園など日照が著しく阻害されることへの不満をどう解消するのか？
40	第一中学校の建替業者が決まらなかった状況があり、この工事もできるのか疑問に思う。
41	各階への移動手段でエレベーターが1基のみだと待ち時間が長くないか？
42	軽運動室と相談室と倉庫などがあっていいと思う。
43	新棟では、廊下などを広く確保し、車いすやベビーカーも通行しやすい建物としてほしい。
44	災害時緊急医療救護所としての機能も果せるように緊急医療器具や設備などの設置を要望する。
45	災害対策として、自家発電設備の設置や水の確保はしているのか。
46	屋上緑化は検討しているのか。
47	近隣の日照の問題が気になる。低層にされることを改めて望む。
48	必要ない。

49	子どものいない家庭が利用できる場所は無いなと感じた。健康診断も勤務先指定の健診センターがあり、利用する必要がない。
50	敷地の北側に駐輪場・駐車場を配したのは北側隣接住民への配慮と受け止めている。さらなる日照確保できるよう建物の構造配置に配慮してほしい。
51	健診のため来館する医師や歯科医師用の駐車スペースはこれまでどおり必要。公共交通機関を利用する場合には診療時間の確保ができない。
52	「子ども子育て総合窓口」が気になる。どのように機能するのか、関心がある。
53	いいと感じたことは何もない。建物の規模が大きすぎる。利用するのは一部の時間に余裕がある平日利用できる人だけでその他は何も恩恵を受けていない。そもそも施設の老朽化が早すぎる。配管工事が問題ならばその部分だけ改修すればよい。緊急時には公園等広場に簡易的な建物を作って対応すればいいのではないかと。大きなエントランスフロアは必要ない。
54	新しい保健センターの増築は、ここまで大きな規模は必要ない。建替えるにしても規模を縮小してほしい。せめてフラットな2階建てにしてほしい。説明会でも、市民、近隣住民の要望は受け入れていなかったことが気になる。
55	相談室は1階フロアにも少しでもあると思う。エレベーターがあるとはいえ、妊娠中の方等少しでも垂直移動を減らした方が気持ちも楽な方もいるので、場合によって使い分けられるといい。
56	子どもの居場所やチャレンジルームと同じ建物に子どもの権利擁護機関が入るのは相談のしやすさにつながるかもしれない。それでも関係づくりは必要になると思う。
57	良いと感じた点は、災害時の対応倉庫があること。気になる点は、福祉避難所としても考える必要があること。
58	子どもの権利擁護機関に子どもだけで相談しに行きやすいか気になる。場所も少しわかりにくいと思うので、子どもに対しての周知徹底が必要。
59	学校に通いづらい子が自由に外の世界に関われるスペース、人材があるのは良い。チャレンジルームという名前だと敷居が高い気がする。社会とつながる部屋として、別に何かを頑張らなくてよい、くるだけで十分。それで人や知識とつながれるという意味で、つながルームなど、もっと優しいネーミングがよい。
60	子どもの権利擁護機関は非常に重要な機能だと感じる。相談者が守られる環境的・構造的配慮が必要と感じる。(2名)
61	資材高騰により当初公表40億円では計画実施できない。設計を見直し増額しないように工夫してほしい。
62	ベビーカーの多いエリアが2Fの乳幼児エリアとなっているのは問題ないのか。
63	備蓄倉庫としての機能が良く思う。
64	一般市民は何をやっているところか分かりにくい。
65	当事者の意見をしっかり聞いて計画してほしい。
66	ハード面は運営しないと分からない。開設後、市民やその他の人達にどのように「参加」してもらうのか、考えているのか。出来上がってからでは遅いと思う。
67	エントランスフロアを非常時に使える様に広く取っているのが良いと思うが、普段の時の利活用も考える必要がある。
68	他の団体や健康に関連する事業者が講演会や講習会ができるスペースがあると良い
69	健康課と子ども支援の窓口が同一フロアに置かれている点は良い。
70	子どもが裸足で遊べるスペースや大人が寝て体操ができる広いスペースがあるとよい。
71	来館者(特に子ども)が増えることが想定されるため、安全対策や防犯機能があるとよい。
72	チャレンジルームの設置は社会的に必要とされていると感じる。チャレンジルームを利用する子どもが他の子どもの目を気にせず利用できる構造的な配慮があるとよい。
73	新施設が障害のある方にも理解しやすく、利用しやすい構造であるとよい。わかりやすい案内表示等も重要であるが、文字が読めない、表示の意味が理解しにくい方でも気軽に分からないことを尋ねられる窓口が設置されていると安心して利用できる。

Q10 その他、ご意見があればご記入ください。

(自由記述)

※いただいたご意見を抜粋して記載。類似するご意見はまとめたの記載とさせていただきます、()内は人数を示しています。所属や誤字等と見受けられるものは一部修正・補足し、記載をしています。

No	自由記述 主な回答内容
1	スウェーデンなど北欧の施設を参考にしてほしい。
2	保健センターに限らず体育館などのイベントは毎回同じ曜日や時間の設定のため利用したくてもできない状況なので改善した方がよい。
3	誰でも安心して利用できる施設としてほしい。特定の世代(子ども、中高生、子育て世代、中高年、高齢者など)を対象にすることや特性(健康状態、障害の有無、独身など)による利用のしにくさがないようにしてほしい。(8名)
4	3歳健診の時間帯を早くしてほしい。午前中にしてほしい。
5	既存施設の老朽化が激しく、幼児用歯科検診の設備が古いので新しいものにすべき。
6	武蔵野市は面積が小さく道路などのインフラ整備にはお金がかからないイメージで、小中学校の改修が一段落してきたのであれば保健センターの改修に取り組むべき。
7	デザイン性より機能性重視して作ってほしい。
8	保育コンシェルジュの方への相談や、医療費の償還払いやベビーシッター利用支援事業の交付申請書受付などお金に関わることもできるとありがたい。本当は市政センターで出来ると良い。
9	子ども乗せ電動自転車での来所も多いと思う。大型自転車にも対応するなど駐輪場のスペースをしっかりと確保してほしい。屋根があると嬉しい。(6名)
10	女性専用スペースはしっかり残してほしい。子どもへの性犯罪は多目的トイレで起こりやすいので人目につきやすい場所に設置してほしい。
11	妊娠、出産を機によく利用しており、勿論いい方もいるが保健師・栄養士・助産師に態度が悪い人が見受けられる。気持ち良く過ごせるよう職員の教育をお願いしたい。
12	案内図の文字の字体を大文字で見やすくしてほしい。
13	きれいで、やわらかい感じのする建物、場所であるとよい。
14	無料検診の検査後の結果の医師の相談充実をお願いしたい。
15	施設から遠距離に住む市民は利用しにくい。市内どこからでも行きやすいようにムーブスを通すなどアクセスをよくしてほしい。もしくは各地域にも同様の機能がほしい。(6名)
16	最近高齢者向けの体操、ストレッチなど、無料のプログラムが減っている気がする。武蔵野総合体育館までは遠いので、簡単なジム利用ができるようにしてほしい。
17	武蔵野市としての保健所を設置すべき。何故武蔵野市は東京都の直系管轄となっているのか?
18	一室が広くオープンな部屋が良い。
19	運動できる場所があるのはよいこと。ただ自宅により近いコミセンをもっと活用出来ると良いと思う。
20	シングルマザー、ファザー及びヤングケアラーへの支援に市民が参加しやすい、機能を優先してほしい。
21	抽選落選者が多い、人気の講座は定員や回数を増やすなど見直しをお願いしたい。
22	チャレンジルームの場所は今からでも変更してほしい。
23	特に吉祥寺～三鷹エリアに「何となく理由もなく来られる」安心出来る子どもの居場所が少ないので、子ども子育て世代が通いやすい施設、子どもだけでも訪れられる施設にしてほしい。
24	他の市や区のモデルとなることを期待している。
25	何事も常識に囚われず、時代に合わせてクラッシュ&ビルドで常に進化を目指してほしい。
26	運動が出来るスペースがあり、市民が様々な講座に気軽に参加できるようにしてほしい。子育てママは圧倒的に運動量が少なく、体力減少にみんな悩んでいる。託児付き講座や、学校が終わる時間までの間に参加できるような講座を開催してほしい。事前予約ではなく、フラットと単発で利用したい。予約制だと申込みを躊躇してしまう。
27	市民目線でワンストップにことが済むように工夫してほしい。

28	見た目豪華なこんな施設あります。とりあえずあります感。保健所があるほうがいいのではないか。カフェや展望室や自習室など併設する事で施設の認知度が上がり市民の目が向き有効な施設となる。今の保健センターは活気がない。こそこそ行く感じで知る人ぞ知る人が利用だけ。
29	子育て支援は、補助金を配布したり、支援策を増やすことより、若手が未来に希望をもち、結婚したい、子どもを作りたいという社会を実現することが根本的な対策と思う。 昔の日本は所得が少なくとも、もっと早く結婚して、子どもも多かったのは何故か、というところに立ち戻って、行政の施策を遂行してほしい。
30	自動販売機などほしい。災害対策用のものであるとよい。(2名)
31	電気系統が地下にあると浸水して停電することもある。備えはあるのか。
32	市民ではなくても、誰でも自由に利用できるのか。市民専用のスペースがあるのか。
33	道路からの段差をなくしてほしい。
34	武蔵境のプレイスはとても利用しやすいし、立ち寄りやすいスペース。あの様な雰囲気だと市民の方も立ち寄りやすいと思う。
35	全体的な計画としては良いと思うが、中央図書館跡地が何年も放置され、もっと早くに立案されれば良いと思った。
36	近隣住民や周辺の施設や学校に配慮し、工事中の騒音や振動・交通渋滞・騒音などに十分注意してほしい。(2名)
37	コミュニティ協議会の活動が一助になれば幸い。
38	建物増築による生活用水の増加に伴い処理能力を超えて150mmを超える風水害があった場合どんな影響がでるのか？
39	施設に来られる皆さんが楽しめる施設になる事を望む。
40	新しい機械を導入して脳ドックを行ってほしい。
41	建物としても魅力的なカッコいいデザインを希望する。外観は勿論、吹抜けを設けてもいいと思う。基本的な機能はクリアをしているとして、デザインの面からもコンペをして、デザイン力のある設計事務所を選定してほしい。
42	災害時電話回線が不通になった際のバックアップ通信拠点としての機能も果せると良い。避難所救護所へ物資を輸送するための緊急車両の配備も必要。
43	子どもの権利条約には考えさせられる。成果を出さなければならない役人が、こんなことあんなこと書いときゃいいでしょ目線で作られた、お行儀の良い子どものための権利条約のように感じる。子供同士のトラブルの場合、どちらもの子どもの人権を守る、のは、不可能に近いのではないかと？様々な出来事がいじめや不登校の原因になりえるが、そのそれぞれを精査して、この条約は作られたのか？子どもの人権を守る、その大切さはわかるが、その守られるべき子どもを産んだ、また育てている大人のことを保護する、または支援する、などの手立ての実現のほうが先に来てほしい。心の貧しい親に育てられている子どもたちを救ってあげたくても、そもそも、心を育ててもらう環境に置かれたことがないので、何をしても響いてはくれない。
44	施設を作るだけでなく、本当に助けが必要な人たちに助けが届くように職員が積極的に外に出ていくようにするべきだと思う。
45	保健センター北側に隣接する土地は約80cmほど低い。駐車場・駐輪場の配置は北側いっぱいではなく、北側隣接地から十分な距離の緩衝地帯を設けてほしい。
46	用事を済ましている間に子どもを託児できるスペースや土日祝でも気兼ねなく遊べるスペースがほしい。
47	自動で入れられる自転車の空気入れがほしい
48	正に、「健康」「子育て」を総合的に支援するセンターになると思う。「どこに相談したらいいか分からない」と言われることがないようなセンターにしてほしい。
49	雨の日も近場の室内でサッカーやボウリング、バスケットなど自由に遊べて、読書や工作もできる、渋谷区の児童青少年センターフレンズ本町のような施設がほしい。

50	日照問題は住民の健康被害に繋がる。健康がメインの施設ならば近隣住民の健康にも気を配る必要がある。 ①ウサギ山公園横(旧図書館敷地内)にわんぱく公園を移して大きな公園兼緊急時の建物設置場所にする、②増設施設は、現わんぱく公園の敷地と旧図書館敷増設部分面積を縮小して斜面を利用して地下一階～2階建ての施設にする、③建物規模の見直し、④基本的に旧図書館の基礎はそのまま利用して掘削は行わない もう一度建物の規模や、設置箇所の再検討をお願いしたい。
51	結局市は説明会を開催したというポーズだけで、市民や近隣住民の要望は全く聞いていないのだなと感じた。近隣住民にとっては日常生活にも大きく関わる問題もあるため、しっかりと近隣住民の要望を取り入れてほしい。
52	使用済みオムツを施設で捨てることができるととても助かる。
53	健診時はいつもたくさん声掛けをしてもらい、なにかあったらここに相談すれば良いと、心の支えになっている。建物のハード面はもちろん、ソフト面の充実も引き続きお願いしたい。
54	子どもから大人まで相談したいときに利用できないともったいない。開館時間をどのように考えているか。
55	子どもが利用するスペースもあるが子どもや親の意見は取り入れられているか。チャレンジルームがこの施設に入ることやどのフロアがいいかなど子どもたちの意見は反映されているか。(2名)
56	子どもの居場所が入るようだが、一言で居場所といっても駄菓子屋から総合的な児童館まで様々なものがある。どのようなものを想定しているか？入口は道路側にもついたり、自転車を施設の真ん前に止められたり子どもが来やすい工夫はされるか。
57	チャレンジルームの説明で「行くことができない」という表現は不十分ではないか。行けるけど行かない子もいるはずだ。
58	チャレンジルームへの給食の搬入ルートなどバックヤード的なものは図面に載っていないと解釈してよいか。
59	エレベータを二か所に設置するのは使い方が異なるということか。
60	水道管の改修から始まったことなので、また次に改修するときの策などは考えているか？
61	昨年採択された陳情(陳受4第9号)の第3項(近隣住宅への十分な日照確保)が無視されている。民主主義の根幹を侵す計画案であり改善してほしい。
62	災害時の拠点となるには、センターの前の道が狭すぎるのではないか？
63	Q7③気軽に心身の健康に関する相談ができる環境(医師、保健師、管理栄養士等による相談など)に歯科医師、薬剤師は入らないのか。
64	足、特に膝に障害のある人は上りエスカレーターより下りエスカレーターを必要としている。
65	誰もが気軽に入出し、使用できるよう入口を開放的にしてほしい。入口に案内係を置いて何の相談をどこにいけばいいか分かりやすくしてほしい。
66	幼年・少年・中年・青年・成人・老人すべての人の相談窓口となり、どこにその施設があるのか分かるようにしてほしい。
67	無理にいろいろ詰めこまないほうがよいと思う。
68	施設機能を集中(複合化)することの問題点なども明確にして準備をしてほしい。
69	少子化、核家族、共働きの時代、子どもを産んで子育てに専念する期間は長い。夫婦、またはシングルマザー、ファザーでも安心して育てられるような環境、協力し合う体制が必要だと思う。人生100年の時代、高齢者支援センターは充実し利用者も多いようだ。未来を担う若い人達、子ども達のためにも新施設は絶対必要だと思う。

70	<p>市政が若い世代をサポートする方向へ向かっていることは、とても良いことだと思う。だが個人的には一極集中型ではなく、市内いたるところに子どもの居場所・親のたまり場があり、それらが健全に運営されている方がより一層市民にとって住みよい町となるのではないかと思う。</p> <p>ひとつの建物にさまざまな機能を持つ施設が併設され連携する、それはコスト面でも省エネであり、そこから生じるアイデアやエネルギーは計り知れないものであろうと想像できる。しかしながら、それが誰もが平等に恩恵を被れるような、そのような施設でなくては何の意味もないのではないかと切に思う。</p>
71	<p>施設のスぺースの利用が特定の団体などで限られている点は、再度検討をしていただきたいと考えます。</p>
72	<p>不登校の子ども達が集まる場所の名前が「チャレンジルーム」というのは余計なプレッシャーを与える可能性があるため、チャレンジしなくて良い、存在するだけで良いと認める名称にした方が良いと考える。</p>
73	<p>健康づくり事業団で実施している人間ドックで配付されるクーポンが「やさい食堂 七福」のテイクアウト商品でも利用できるとよい。</p>
74	<p>「やさい食堂 七福」で実施している市民の健康を支援するセミナーへの協力も継続できるとよい。</p>

主な回答内容に対する市の考え方

1. 健康増進事業に関すること		
No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	<p>現在保健センターで行われている健康体操などの受講ができて、グループ等での自主的な利用が可能な鏡のあるスペースがあって欲しい。セルフコンディショニングに興味のある人が増えているが、コミセンにはなかなか利用できるスペースがない。</p>	<p>武蔵野市健康づくり事業団が実施する運動プログラムを実施するスペースとして軽運動などができるアクティブスペースを設けます。鏡の設置については今後設計を進めていくなかで参考とさせていただきます。</p>
2	<p>最近高齢者向けの体操、ストレッチなど、無料のプログラムが減っている気がする。武蔵野総合体育館までは遠いので、簡単なジム利用ができるようにしてほしい。</p>	<p>健康支援は全世代を対象としており、武蔵野健康づくり事業団において、高齢者向け、子育て世代向けなど様々な事業を実施しています。また吉祥寺地区、武蔵境地区でも高齢者向けにスポーツクラブを活用した事業を行っています。</p> <p>ジムについては、市全域で一つしかない総合体育館が近くにありますので設置の予定はありません。</p>
3	<p>運動できる場所があるのはよいこと。ただ自宅により近いコミセンをもっと活用出来ると良いと思う。</p>	<p>武蔵野健康づくり事業団の健康づくり推進員の活動において、保健センター以外でもコミセンと協力連携して、健康づくり出前講座、健康づくり共催講座、健康づくり応援パートナー連携事業の事業等を推進しています。今後もコミセンとの連携を進めていきます。</p>

4	運動が出来るスペースがあり、市民が様々な講座に気軽に参加できるようにしてほしい。 子育てママは圧倒的に運動量が少なく、体力減少にみんな悩んでいる。託児付き講座や、学校が終わる時間までの間に参加できるような講座を開催してほしい。事前予約ではなく、フラッと単発で利用したい。予約制だと申込みを躊躇してしまう。	運動ができるスペースとしては、軽運動などができるアクティブスペースや多目的室の利用を予定しています。また、託児等を含めた市民のライフステージに合わせ、多様な事業を工夫して実施していきます。 自由来所型の講座については、新型コロナウイルス感染症対策として事前予約制としており、今後は見直しを検討していきます。
---	---	--

2. 健（検）診に関すること

No	主な回答内容 ※（）内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	一人暮らしの高齢者や子どもが安心して健康に生活できるように健康診断や健康相談を充実させてほしい。	専門職による健康相談は、電話・来所などで受けており、健康診査は、対象者には受診勧奨を行っています。今後も市民への周知に努めます。
2	親子で健診（大人も子どもも）できること。	託児付きのがん検診を実施しています。新施設には一時預かりを設置し、施設内での各種相談、健（検）診などの際に活用できるようにします。
3	子ども子育て総合窓口と成人健診エリアが同じ場所にあることでその世代の検診の受診が増えると良いと思う。	子育てひろばなど、子育て世代が集まるエリアや乳幼児健診の動線に健康啓発コーナーを設け、健診・検診等の案内を行うことを検討しています。 また、掲示物や配布物、インターネットによる広報を活用して、興味を持っていただく機会を増やしたいと考えています。
4	無料検診の検査後の結果の医師の相談充実をお願いしたい。	ご意見を今後の事業実施の参考にさせていただきます。
5	新しい機械を導入して脳ドックを行ってほしい。	今後、健康づくり事業団付属診療所において市民や医師会からのニーズに基づき新たな機器を導入していく予定ですが、脳ドックについては導入する予定はありません。

3. 感染症対策に関すること

No	主な回答内容 ※（）内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	将来ウイルス発生が考えられるので感染症の専門家の増員をお願いしたい。	新施設においては、感染症対策衛生用品の備蓄環境や緊急時にワクチン接種を実施する環境の整備を行います。
2	コロナ時、武蔵野市に保健所がないことが大変不安だった。緊急時に備える施設ともなりそんなことが良いと思う。また、今までの保健センターの良さを失わない施設であってほしい。	保健センターの良い部分は継続し、保健所等と連携して新たな感染症等に備えた各種対策を推進していきます。

4. 災害時医療に関すること		
No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	災害時緊急医療救護所としての機能も果せるように緊急医療器具や設備などの設置を要望する。	発災時は地域防災計画に定めたとおり、災害時緊急医療救護所は、武蔵野赤十字病院・武蔵野陽和会病院・吉祥寺南病院の敷地及び近接地に設置します。 保健センターは災害時緊急医療救護所ではなく、災害薬事センターとしての役割を担います。
2	災害対策として、自家発電設備の設置や水の確保はしているのか。	新施設は災害時医療支援拠点として想定されており、自家発電機の設置や水の確保を行うよう設計を進めています。
3	良いと感じた点は、災害時の対応倉庫があること。気になる点は、福祉避難所としても考える必要があること。	東日本大震災等の教訓を踏まえ、再整備した災害時医療資器材を施設内で備蓄します。 新施設は災害時において薬事センターや専門職による応援チームや物資の受入れ（受援）をする災害時医療支援拠点として位置づけられるため、福祉避難所の指定を行う予定はありません。
4	備蓄倉庫としての機能が良いと思う。	
5	災害時電話回線が不通になった際のバックアップ通信拠点としての機能も果せると良い。避難所救護所へ物資を輸送するための緊急車両の配備も必要。	発災時は保健センターは、災害時医療救護本部や災害拠点病院などを支援する災害対策施設となります。そのため、無線設備を整備していますが、今後も通信機能の強化を検討していきます。物資輸送においては、庁用車（乗用車）を数台所有していますが、不足する状況下となった場合は、市災害対策本部が搬送車両の調達調整を行います。
6	電気系統が地下にあると浸水して停電することもある。備えはあるのか。	新施設は災害時医療支援拠点として想定されており、浸水対策や停電対策として、受変電設備や自家発電機等を屋上に設置するよう設計を進めています。
7	災害時の拠点となるには、センターの前の道が狭すぎるのではないかな？	新施設は、災害時に武蔵野赤十字病院に設置される災害医療救護本部等を補完するほか、災害医療の主体となる避難所での活動拠点等としての役割を担うため、市民に対する医療行為は行わず、専門職による応援チームや物資の受け入れ（受援）を行うことが想定されます。 現況で9mの幅員がある前面道路については拡幅する予定はありませんが、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止し、災害時に受援を行うための車両等が道路を通行できるよう、概ね10年以内に無電柱化を完了させる計画としています。

5. 子どもと子育て家庭への包括的な支援に関すること

No	主な回答内容 ※（）内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	だれでも気軽に利用できる、切れ目のない支援が受けられる施設にしてほしい。（4名）	
2	一か所に集約されることで「子どものことで聞きたいことがあったらここへ行けばよい」「ここにすればまず話を聞いて支援につなげてもらえる」「関連部署で情報を共有してもらえる」という安心感をもって相談ができる拠り所になることに期待する。（7名）	
3	子育て中の世代が孤立しないよう他の機関との連携を積極的に進めてほしい。	
4	よい流れかと思う。三鷹市のハピネスセンターのように、療育施設が健康保健センター内にあることを望む。三鷹市在住時の方が組織として療育現場と市との連携がとれていて、回答も早かったように思う。専門分野内一つ一つの組織が離れれば離れるほど、つながりが薄れ、当事者意識の薄い回答になりやすいと思う。	<p>新施設に設置する子ども子育て総合窓口においては、子ども一人ひとりの健やかな成長のため、</p> <p>①子どもと子育て家庭への支援に関する、どのような相談もいったん受け止め適切なサービスや支援につなぐ総合相談機能（窓口）</p> <p>②母子保健・療育相談・教育相談等の相談支援機能を同一施設内に設置し多様な部門でより高度な連携を図ることにより、妊娠期から子どもが18歳になるまで切れ目なく情報提供を含めた子どもと子育て家庭を支援する体制を構築します。また外部研修などを活用しながら、人材育成に努めます。</p> <p>新施設内や市役所本庁との連携だけでなく、外部の関係機関とも連携強化に努めます。相談窓口に来ることが難しい子育て家庭がより身近に相談ができるような支援を実施します。</p>
5	子どもの発達上で何か問題を抱えたときや複合的な課題があるときなど子育て関連の窓口が別々に存在すると、どこに行くのが適切なのか迷うこともある。各機能が複合化し機能の連携がされれば、1箇所の施設に行くことで適切な支援が受けられたり問題解決の糸口がつかみやすくなると思う。安心して相談できる総合窓口があり、そこから適切な専門機関が連携して対応できるとよい。（7名）	
6	相談者や申請者が同じ説明を何度も行わず、分野横断的に気軽な相談や適切な支援が行われるよう、情報の共有化など内部で連携を取ってほしい。一人の子どものサポートを横のつながりで情報共有してくれるとありがたい。（7名）	
7	市民目線からワンストップサービスができるように期待する。	
8	複数の部署にまたがるような相談事に機能連携により速やかに対応することで最悪の事態になる前のサポートになるように期待する。（2名）	
9	子育て支援施設が持つ情報を共有し、共有した情報をもとに円滑な支援がされるとよい。	
10	子どもが成長していくうえで支援の見通しが持てる情報が得られたら安心する。	
11	特定妊婦、いじめに苦しむ児童など本当に助けが必要な人々に対して担当が違うなどと逃げずに正面から立ち向かう施設であってほしい。	

12	今まではあちこち行かされてどこに行けば必要な援助が受けられるのかわからなかったが、まとまって子どもの問題を解決できる施設になれば、安心できると思う。	同上
13	各施設がきちんと連携をとり対応できるように、ハード面だけでなくソフト面でも複合施設の利点を活かせるようにしてほしい。	
14	子どもの成長段階において生じる問題に適切に対応するには、細分化された窓口が必要。1つの施設で対応できれば、利便性があるし、あちこちたらい回しされないで、より適切な診断、判断が見通せる。利用する際、待ち時間が長くない、気軽に利用できることを考慮することは必要。	
15	「子ども子育て総合窓口」が気になる。どのように機能するのか、関心がある。	
16	市民目線でワンストップにことが済むように工夫してほしい。	
17	子どもが大きくなるまで（その後）、特にハンディキャップのある子への継続的な支援ができるように希望する。	
18	健診時はいつもたくさん声掛けをしてもらい、なにかあったらここに相談すれば良いと、心の支えになっている。建物のハード面はもちろん、ソフト面の充実も引き続きお願いしたい。	
19	家庭内のことは外部ではわかりにくい。どんな小さなことでも見逃さない専門的な機能があるとよい。	子ども一人ひとりの健やかな成長のため、保健師、心理士など専門的な資格を持つ職員を中心に妊娠期から切れ目なく見守ることで、小さなサインを見逃さない体制を強化します。 子どもと子育て家庭への支援のニーズが複雑化・多様化し、相談支援に従事する職員の資質向上が求められています。人材育成体制の構築を行い、必要な資質向上を図ります。各々の専門職が定期的に研修を行うなど外部研修などを活用しながら、人材育成に努めます。
20	機能連携として横の繋がりのスムーズ化はちゃんとしてもらいたいが、各々の専門性の深堀もしっかりしてほしい。	
21	機能連携されるということは、情報の漏洩リスクも高まることだと思われるので、情報のセキュリティは守ってほしい。	武蔵野市情報セキュリティ基本方針に則り、適切に対応します。また、職員への教育も徹底します。
22	幼保施設から小学校への情報がスムーズに伝わること。	他機関へ個人情報伝えることになるため、保護者の同意を得るなど、適切に対応し幼保施設から小学校への情報連携を進めます。
23	選択肢として、色々な相談窓口を残してほしい。一カ所にまとめられてしまうと、他の意見も聞きたいときに行き場所がなくなってしまう。	総合窓口を設置しますが、療育相談・母子保健・教育相談など各種相談対応ができるような体制を検討しております。なお、療育相談はみどりのこども館でも引き続き行います。

24	相談日が決まっていて使いにくい。	開館日や相談日に関しては検討中ですが、市民ニーズに応えるため柔軟な運用ができるよう検討を進めます。現在、子育て相談、健康なんでも相談等は、現電話・来所等により、随時実施しているほか、児童発達支援センター（ハビット）は月1回土曜日を開所しています。
25	児童発達支援センター（ハビット）の土日対応を強く希望する。情緒面の療育や運動療育など（面談や検査を含む）は平日実施がメインとなり仕事との両立が困難。民間の療育施設は土日はいっぱい入ることができない。	
26	ベビーサロンのような保健師や助産師などの専門家に相談できる機会が増えるとよい。（2名）	保健センターでは、来所・電話でも専門職が相談をお受けしています。ベビーサロンは保健センターだけでなく、子育てひろばでも実施しており、今後も身近な地域において相談支援を実施します。
27	理学療法士の常駐など、定期的にも産後の体のケアや相談等ができるとうい。子育て世代が多いこともあるのでお母さんへの支援が手厚くなるのはすごくありがたい。	助産師等による産後ケア事業を地域で充実していきます。
28	子どもの困り感に対し親は未熟。親子で困ってしまうので、どこかで目があることが安心できる。	市全体で親子を見守れるネットワーク構築等に努めます。
29	相談と子どもの遊ぶ場が近くにあることで、一人で考えすぎない・お互いに気付き合う、発達の凹凸があっても受け入れやすい環境になっていくことを期待する。グレーゾーンの子どもへの理解や親の心がまえができていくこと。	どなたにとっても安心して過ごすことのできる施設になるよう、子育てひろばと各種相談が連携し、適切な支援に努めます。
30	中学生や高校生の悩み事を気軽に話したり、相談できるスペースがあるとよい。子どもの自習室のとなりに体の事の悩みを相談出来るようなスペース。子どもが行きやすいように明るいオープンな雰囲気がよい。	新施設においては子どもが気軽に来られて、相談しやすい雰囲気づくりを心がけます。子ども子育て総合相談窓口や教育支援センターで臨床心理士などが中高生の相談を受けるほか、中高生を含む子どもが抱える対人関係のトラブルなど子どもの権利が侵害された際の救済のための子どもの権利擁護機関を設置する予定です。また子どもの居場所においては、子どもが自由に来所でき、自分の意思で自由に過ごせ寛げるオープンなスペースや常時子どもたちとコミュニケーションがとれる年齢の近い大人の配置を検討しています。
31	シングルマザー、ファザー及びヤングケアラーへの支援に市民が参加しやすい、機能を優先してほしい。	各家庭の状況や子育て支援のニーズ等を把握して、適切な相談支援やサービスの提供を行います。子ども一人ひとりの健やかな成長のため、どなたにとっても使いやすい施設を目指します。
32	今まで通り、子どもの発達などについて相談しやすい環境を期待する。	相談内容に応じて、気軽な相談から、プライバシーの確保された個別相談にも対応できる環境を整備します。
33	発達支援が必要な親子への理解が進み、学校などでも適切な対応ができるとよい。	学校生活においても発達支援が必要な子どもに対して適切な理解と支援ができるように学校との連携を進めます。

34	児童発達支援センターも複合化されることが望ましいと思うが、機能連携がスムーズに、かつ確実にすすむ仕組みを作してほしい。	児童発達支援センターの複合化も検討しましたが、新施設では児童発達支援センターとして都の指定を受ける設備を備えることが難しいことなどから、相談部ハビットと連携する療育相談機能のみを複合化することとしました。療育相談はみどりのこども館でも新施設でも受けられるように体制を整えていきます。特に新施設においては子ども子育てに関する総合相談窓口や母子保健、教育相談と連携した療育相談を受けられるように検討します。
35	児童発達支援センターも含めた複合化に変更してほしい。機能連携がされるとなっているが、場所が離れていることで難しさが残ってしまう。今の場所は残しつつも、児童発達支援センターとして使いやすく緊急時にも対応できるスペースが同じ場所にあることが必要。	
36	みどりのこども館は今までの所ようですが、どのように連動するのか。	

6. 子どもの権利擁護事業に関すること

No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	子ども関連の思想の機関が含まれていることに不安を感じる。親の目の届かないところで、子どもがアドバイスを受けるのは避けるべき。	子どもが抱える悩みの中には、友人関係・学校関係のほか、親含む家族に関する悩みなど多岐にわたり、中には親には言えない悩みを抱えることも考えられます。子どもにとっての最善の利益はなにかを、子どもに寄り添いながら見出し、悩みの解決の支援を行う子どもの権利擁護機関を新施設内に設置します。
2	子どもの権利擁護機関は抵抗なく行けるような雰囲気づくりをしてほしい。閉鎖された感じや雰囲気があると行きづらいので、明るく子どもが行きやすい感じにしてほしい。(2名)	子どもにとって行きやすい、気軽に相談しやすい雰囲気づくりを検討します。
3	オープンなスペースは親子で訪れやすい感じになりそうで嬉しい。広々してゆったりすごせる感じになるとよい。チャレンジルームや子どもの権利擁護機関も安心してすごせる場になればよいと思う。子どもの権利擁護機関は、このような施設があるということの子や親、学校などへ分かりやすく情報発信すること、子どもが直接利用しやすくなる手立て(Tel相談やメール、LINE相談、直接来所など)、誰でも利用しやすい名称をつけた方がよいと思う。	子どもの権利擁護機関を設置したことについて情報発信を行うことは重要であると考えます。また子どもの権利擁護機関の設置に関するパンフレットや啓発品配布による周知、動画作成、SNSの活用、イベント開催など様々な取組みを検討しています。相談ツールや不登校の児童生徒が安心して過ごせる場所についてもご意見を踏まえ検討を進めます。
4	子どもの権利擁護機関に子どもだけで相談しに行きやすいか気になる。場所も少しわかりにくいと思うので、子どもに対しての周知徹底が必要。	
5	子どもの居場所やチャレンジルームと同じ建物に子どもの権利擁護機関が入るのは相談のしやすさにつながるかもしれない。それでも関係づくりは必要になると思う。	ご意見のとおり、子どもの居場所やチャレンジルームなどと同じ建物に子どもの権利擁護機関が入ることで相談のしやすさにつながると考えています。また、相談員が子どもの居場所やチャレンジルーム等に向向いて、普段の会話を通して関係づくりを進め、子どもの権利擁護機関を知ってもらい、なにか悩みがあった際には利用してもらうような取組みが必要であると考えます。

6	子どもの権利擁護機関は非常に重要な機能だと感じる。相談者が守られる環境的・構造的配慮が必要と感じる。	ご意見のとおり、子どもの権利擁護機関は子どもの権利を守るために重要な機能であると考えます。相談者の匿名性を確保できるよう、相談室の設え等工夫していきたいと考えています。
---	--	--

7. 母子保健に関すること

No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	乳幼児の健診エリアがとても広く行きやすいと感じた。	乳幼児健診エリアは多くの子どもと保護者が来所するため、2階のフロアーに集約し利用しやすくなるよう検討を進めています。
2	ベビーカーの多いエリアが2Fの乳幼児エリアとなっているのは問題ないのか。	乳幼児健診を2階のフロアーに集約しベビーカーでも上がれるよう検討しています。
3	3歳健診の時間帯を早くしてほしい。午前中にしてほしい。	乳幼児健診は、市内で医療機関を開業している医師や歯科医師などをお願いし診察をいただいておりますが、午前中はそれぞれの医療機関などで診察をしているため、乳幼児健診は午後を実施しています。 お子様やご家庭の事情等あるかと思いますが、ご理解のほどお願いします。
4	既存施設の老朽化が激しく、幼児用歯科検診の設備が古いので新しいものにすべき。	適切な健診機器を設置します。

8. 不登校児童生徒支援（チャレンジルーム）に関すること

No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	不登校児（家族）のケアや居場所作りも積極的に拡充してほしい。低学年の不登校児でも通えるような安心して過ごせる居場所（保護者の送迎が不要）も必要だと感じている。	新施設に限らず、市内で不登校児童生徒が安心して過ごせる学びの場づくりを進めていきます。 子どもの居場所は、子どもが自由に来所でき、自分の意思で自由に過ごせ寛げるオープンなスペースを検討しています。支援が必要な子どもにも安心して過ごせる居心地の良い居場所となるよう、努めていきます。
2	チャレンジルームを置き、全市内から不登校者を一カ所に集めるのは不適切。遠方からの通所を強いて、学区から離れて不登校を定着させる愚策。現状の分散設置のままでよい。	新施設には現在大野田小学校内にあるチャレンジルームを移転します。不登校児童生徒への支援の場所としてチャレンジルームのほかクレスコーレ（御殿山）がありますが、こちらは現在の場所で事業を継続します。今後不登校児童生徒が利用しやすい施設になるように検討を進めます。

3	チャレンジルームが地下で閉塞的な感じがする。人目を気にするため地下にしたのか。今の場所は地下で行きたがらない子どもがいるとき。地上など陽のあたる場所にしてほしい。(6名)	チャレンジルームを利用する子どもたちが人目を気にせず安心して通え、音が出る活動についても気兼ねすることなく、居心地よく過ごせる場所になるように動線や施設の配置・構造に配慮した結果、地下に配置することで設計を進めています。 ご意見のとおり明るさは重要だと考えております。暗く閉塞的な感じがないように、ドライエリアや窓を配置するなど十分に配慮し、児童生徒が安心して過ごせる施設にしたいと考えています。
4	チャレンジルームの配置はよいと思う。窓を配置するなど地下でも明るい空間にしてほしい。(3名)	
5	チャレンジルームの設置は社会的に必要とされていると感じる。チャレンジルームを利用する子どもが他の子どもの目を気にせず利用できる構造的な配慮があるとよい。	
6	チャレンジルームの場所は今からでも変更をしてほしい。	
7	チャレンジルーム 親の貧困にまつわる子供の貧困が地域的に課題になっているので。	
8	学校に通いづらい子が自由に外の世界に関われるスペース、人材があるのは良い。チャレンジルームという名前だと敷居が高い気がする。社会とつながる部屋として、別に何かを頑張らなくてよい、くるだけで十分。それで人や知識とつながれるという意味で、つながルームなど、もっと優しいネーミングがよい。	
9	不登校の子ども達が集まる場所の名前が「チャレンジルーム」というのは余計なプレッシャーを与える可能性があるため、チャレンジしなくて良い、存在するだけで良いと認める名称にした方が良く考える。	不登校の児童生徒が安心して過ごせる居場所、社会的自立に向けた多様な学びの場となるように努めます。また、このようなチャレンジルームの活動が伝わるように周知していきたいと考えています。
10	チャレンジルームへの給食の搬入ルートなどバックヤード的なものは図面に載っていないと解釈してよいか。	
11	チャレンジルームの説明で「行くことができない」という表現は不十分ではないか。行けるけど行かない子もいるはずだ。	
		お考えのとおり図面には複合施設内の配置のみ記載されています。
		チャレンジルームを説明する際の参考とさせていただきます。

9. エントランスフロア（ロビーラウンジ、インフォメーションスペース、多目的ルーム、団体（サークル）支援スペース、アクティブスペース、子育てひろば、子どもの居場所、ファミリー・サポート・センター、一時預かり）に関すること

No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	子どもを連れて利用しやすいよう少し休憩できるスペースがほしい。	エントランスフロアのロビーラウンジなどは来館者がのびのびと過ごせる、ゆったりとしたつくりになります。

2	悪天候時に子どもたちに運動させてあげられる場所になればいいと思う。	新施設では、全世代の方が運動できるスペースとして軽運動などができるアクティブスペースや多目的室を設け、市民の皆さんの健康づくりを支援します。 また支援が必要な子どもと子育て家庭が支援に結び付きやすいよう、気軽に足を運ぶことのできるスペースとして子育てひろばや子どもの居場所を設けます。子どもの居場所には畳スペースを設置し、ゆっくり寛げる空間になるよう検討しています。
3	子どもが裸足で遊べるスペースや大人が寝て体操ができる広いスペースがあるとよい。	
4	横の連携が密にとれるようになるとよりムダのない効果的なプロジェクトが生まれると思う。	ご指摘のとおり、機能を一体化するだけでなく、各部署が連携できるよう組織体制を構築していきます。
5	施設全体の情報を提供でき、連携のための部署を位置づけるようにしてほしい。	
6	地域の子ども食堂や、大人から子どもまでの居場所づくりなど連帯の活動になることを期待する。	基本計画の基本方針4で掲げている「地域で育ち、地域で育てる」を実践し、基本理念でもある「全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点」が実現するよう計画を進めていきます。
7	若い世代が足を運ぶ機会が多くなると思うので、健康づくり支援センターをPRできる機会が増えるのではないかと思います。	新施設1階のエントランスフロアにおいて、来館者向けに健康度測定や情報発信を行うスペースを設ける予定です。全世代の方に気軽に立ち寄っていただくことで主体的な健康づくりを支援できるよう工夫していきます。
8	エントランスフロアは非常時対応の拠点とするなら、固定的な用途とせず、全世代を対象にイベント、展示などを随時リニューアルして行うことを希望する。	エントランスフロアのロビーラウンジは誰でも利用できるスペースとします。健康づくり支援・子どもと子育て家庭への支援に関するさまざまな情報を提供するインフォメーションスペースや各種イベントなど様々な使い方を可能とする多目的ルームを設けるなど、全世代の市民の皆さんに利用いただける施設を目指します。
9	エントランスフロアに小学生だけで遊んでいられるような作業スペースなどがあると良い。	このほか、団体同士の情報交換の場となる団体（サークル）支援スペースや、軽運動などができるアクティブスペース、子育てひろば、子どもの居場所、ファミリー・サポート・センター、一時預かりを設置します。非常時には事態に応じた対応（臨時ワクチン接種会場等）に転用できるよう設計を行います。
10	エントランスフロアが広く入りやすいつくりになっていてよいと思う。全ての機能が全てはいるのかは疑問に思う。どのような配置になるのか楽しみにしている。（3名）	
11	エントランスフロアを非常時に使える様に広く取っているのが良いと思うが、普段の時の利活用も考える必要がある。	
12	子育てひろば、軽運動室などの機能は、健康保健の統括拠点に置くより、各地域に平等に設置したほうがよく、統括拠点としての機能としてあるべき機能を吟味したほうがよい。市民がワンストップで行政サービスが受けられるよう、精査して集約する機能を決めてほしい。	新施設に複合化する主な機能は、現保健センター・市役所・大野田小学校にありいずれも中央圏にある市の拠点施設です。各地域で行っている健康増進事業や各地域にある0123施設や児童館等などの機能は継続します。市内の常設の子育てひろば（乳幼児施設）は、今後も子育て家庭が歩いて行ける距離に整備していくことを計画しています。

13	カフェがあるとよい。ベビーカーでランチができるお洒落な場所がほしい。(2名)	施設内において常設のカフェなどの飲食店は想定していませんが、エントランスフロアのロビーラウンジなどに自動販売機や給水機を設けるほか食事をとれるスペースの設置について検討します。
14	他の団体や健康に関連する事業者が講演会や講習会ができるスペースがあると良い	エントランスのロビーラウンジや多目的スペースにおいて健康づくり、子どもに関する様々なイベントを展開できるよう計画しています。
15	施設のスペースの利用が特定の団体などで限られている点は、再度検討をしていただきたいと考えます。	新施設においても各種事業や機能と連携することにより、公共サービスがより向上するものを優先的に配置していきます。
16	誰もが気軽に出入りし、使用できるよう入口を開放的にしてほしい。入口に案内係を置いて何の相談をどこにいけばいいか分かりやすくしてほしい。	エントランスフロアは誰もが入りやすい設えとし、またインフォメーションスペースを設け、来館者へ施設の案内を行うとともに、必要な情報を提供します。
17	子ども子育て支援施設に期待したい。同世代の子ども同士の交流の機会が増えると嬉しい。	同世代の子ども同士、保護者同士の交流の場として活用してもらえそうな施設となるように努めます。
18	特に吉祥寺～三鷹エリアに「何となく理由もなく来られる」安心出来る子どもの居場所が少ないので、子ども子育て世代が通いやすい施設、子どもだけでも訪れられる施設にしてほしい。	子どもの居場所は、子どもが自由に来所でき、自分の意思で自由に過ごせ寛げるオープンなスペースを検討しています。その居場所での子どもたちの出会いや交流が生まれるような仕組みについても検討していきたいと考えています。
19	雨の日も近場の室内でサッカーやボルダリング、バスケなど自由に遊べて、読書や工作もできる、渋谷区の児童青少年センターフレンズ本町のような施設がほしい。	また本棚を設置し読書も楽しめるような空間になるよう検討しています。時間帯によってはボルダリング等ができたり、常時子どもたちとコミュニケーションがとれる年齢の近い大人の配置も検討しています。
20	子どもの居場所が入るようだが、一言で居場所といっても駄菓子屋から総合的な児童館まで様々なものがある。どのようなものを想定しているか？入口は道路側にもついたり、自転車を施設の真ん前に止められたり子どもが来やすい工夫はされるか。	入口は西側の道路からをメインに、東側の公園側からも入れるよう検討しており、同時に自転車置場も検討しています。
21	子育てひろばなど、子どもが遊べる場所の機能も合わさることで、健診前後に遊ぶこともでき、また新施設内の子育てひろばに普段から通うことで、行き慣れた場所となり、各種相談事がしやすくなると期待している。	子どもと子育て家庭が気軽に足を運ぶことのできる、オープンな居場所機能を設置するとともに、利用しやすい子育て支援サービスを実施し、日常的な会話や交流を通じて、必要に応じて支援につなぐ仕組みを構築します。子育てひろばと各種相談の連携を強化し、気軽に相談できる環境の整備に努めます。
22	用事を済ましている間に子どもを託児できるスペースや土日祝でも気兼ねなく遊べるスペースがほしい。	一時預かり事業を実施する予定です。土日祝日の開館については、市民のニーズを踏まえ検討します。

10. その他新施設の機能に関すること		
No	主な回答内容 ※（）内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	ファーストコンタクトとなるスタッフに一番優秀な人材を置くこと。新施設の目的・機能を十分に理解し、各部署との連携もスムーズに行い、来館者に対して気持ちよく接することのできる人材が必要。	入口にインフォメーションスペースを設置し、来館者に対し適切に施設を案内できるようにします。知識の習得だけでなく、接遇研修などを通じて人材育成を図っていきます。
2	誰でも情報を得られる表示や案内があるとよい。（2名）	すべての人に分かりやすいサイン計画とするなど、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した施設を目指します。
3	子育て時期に健康に関する事、教育に関する事の複合的な情報が1つの場所で得られる点	また、健康づくり支援、子どもと子育て家庭への支援に関するさまざまな情報を発信していきます。
4	幼年・少年・中年・青年・成人・老人すべての人の相談窓口となり、どこにその施設があるのか分かるようにしてほしい。	
5	申請などがスムーズにいくこと。スマホによる申請・手続きのできる仕組みをつくってほしい。	スマートフォンを活用した申請・手続きとして、乳幼児健診日程の変更や、がん検診、若年層健診、産後ケア申請等に対応しています。今後は更に、申請や手続きにおける市民の皆さまの負担軽減にむけて、申請内容に応じた適切な手段を検討します。
6	申請や健診など1箇所済むようになるとよい。	
7	土日にイベントがあると参加しやすい。イベントには子育て支援の担当職員がいると質問できてよい。	
8	進学や教育に関するイベント(人気校の学校説明会や人気講師、研究学舎などの学習イベント等)が実施されたら嬉しい。	
9	発達障害児のための専門知識がある先生による放課後補修教室があるとよい。	開館日や開館時間については、市民ニーズに応えられるよう柔軟に検討します。
10	武蔵野プレイスみたいな建築も良くて居心地がよい空間でベビーカーでの移動やトイレもしやすく子どもを連れて学べたり楽しいイベントも行われるような場所を期待する。	また、講座やイベントについては、内容や土日を含めた開催曜日、利用しやすい仕組み等、より多くの方にご参加いただけるようニーズにあった事業を検討します。
11	保健センターに限らず体育館などのイベントは毎回同じ曜日や時間の設定のため利用したくてもできない状況なので改善した方がよい。	
12	子どもから大人まで相談したいときに利用できないもったいない。開館時間をどのように考えているか。	
13	栄養士が考える子育て食事メニューと料理教室(男性向け)	離乳食教室やクックパッド「武蔵野市の公式キッチン」等でメニューの提供を実施しています。料理教室の実施については今後ご意見として参考とさせていただきます。

14	<p>期待することは大いにあるが、個々の施設がひとつの建物一カ所に集中してしまうことへの懸念の方が大きい。近所に住む子どもや親たちにとっては通いやすくメリットも大きいだろうが、離れた地域に住む市民の利便性を考えると、ちょっとどうかな？との疑問は拭えない。</p>	<p>新施設に複合化する主な機能は、現保健センター・市役所・大野田小学校にありいずれも中央圏にある市の拠点施設です。各地域で行っている健康増進事業やベビーサロン、また各地域にある0123施設や児童館等などは継続します。市内の常設の子育てひろば（乳幼児施設）は、今後も子育て家庭が歩いて行ける距離に整備していくことを計画しています。</p>
15	<p>保健センターの拡充、複合化の必要性が感じられない。増築して空いたスペースに子育て支援施設を追加するだけでビジョンがない。当初の計画通り改修のみでよい。高額な建設費用や建設後の運用コストがかかるため、遠い所に一箇所あるより、家のそばで市民それぞれに合わせて、民間施設や病院など選んで利用できるようにしてほしい。行政に横の繋がりは期待できないので、離れた別の施設でも問題ない。（5名）</p>	<p>法律改正等による保健センターの役割の拡大、新型コロナウイルス感染症への対応などにより、施設面積が不足しているうえ、保健センターで実施する母子保健事業と複合化する子ども子育て家庭を支援する事業との連携は、国の方向性とも一致しています。保健衛生機能の充実を図ったうえで、子どもと子育て家庭への支援施設を含む複合施設として整備を行うために、本計画の規模が必要と考えています。本計画で複合化する機能は、現在保健センター・市役所・大野田小学校にありいずれも中央圏にある市の拠点施設です。各地域で行っている健康増進事業や各地域にある0123施設や児童館等などの機能は継続して実施いたします。</p>
16	<p>Q7③気軽に心身の健康に関する相談ができる環境（医師、保健師、管理栄養士等による相談など）に歯科医師、薬剤師は入らないのか。</p>	<p>歯科や薬に関する相談は、職員の保健師・歯科衛生士が対応しています。相談の内容により、個別対応を行っています。</p>
17	<p>幼年・少年・中年・青年・成人・老人すべての人の相談窓口となり、どこにその施設があるのか分かるようにしてほしい。</p>	<p>新施設は健康に関する相談窓口と子ども子育てに関する相談窓口を設ける計画です。エントランスフロアにはインフォメーションスペースを設け、来館者へ施設の案内を行う都ともに、必要な情報を提供します。</p>

11. 新施設の設えに関すること		
No	主な回答内容 ※（）内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	日照権の問題は誰もが不満のない解決を図るべきと考える。	<p>新施設の計画案は、隣接地の日照確保に配慮した配置・構造としています。</p> <p>北隣接地への日影の影響範囲を小さくするために増築部分を現保健センター側（南側）に寄せて建てる計画案とし、増築部分の壁面から計画敷地北側境界線までの離隔距離は10.5mを確保しており、さらに3階・4階部分を段階的に後退させることで周辺に対する日影の影響を建築基準法で求められる基準よりも小さくしています。</p> <p>また、いただいたご意見を参考に再検討した結果、敷地北側境界線までの離隔距離をさらに1m確保する方向で進めています。</p> <p>日照の問題については、建物を建てる以上ある程度の影は生じます。法律で定められた規制よりも配慮した計画としておりますので、今後グラウンドレベルの日影図等を用いて丁寧に説明していきます。</p> <p>建物規模については、令和4年10月に策定した基本計画に基づいて設計を進めています。</p> <p>また、敷地東側の公園とはかなりの高低差があり、一つの敷地として活用することは考えていません。</p>
2	近隣の日照に配慮し、3階部分の一部を4階とし、日影規定を確保するのは良いと思う。又、建物と隣地境界線迄の空間が10.5mあるので明るく良いと思う。	
3	4階案の日照問題およびうさぎ山公園など日照が著しく阻害されることへの不満をどう解消するのか？	
4	近隣の日照の問題が気になる。低層にされることを改めて望む。	
5	敷地の北側に駐輪場・駐車場を配したのは北側隣接住民への配慮と受け止めている。さらなる日照確保できるよう建物の構造配置に配慮してほしい。	
6	保健センター北側に隣接する土地は約80cmほど低い。駐車場・駐輪場の配置は北側いっぱいではなく、北側隣接地から十分な距離の緩衝地帯を設けてほしい。	
7	日照問題は住民の健康被害に繋がる。健康がメインの施設ならば近隣住民の健康にも気を配る必要がある。 ①ウサギ山公園横(旧図書館敷地内)にわんぱく公園を移して大きな公園兼緊急時の建物設置場所にする、②増設施設は、現わんぱく公園の敷地と旧図書館敷増設部分面積を縮小して斜面を利用して地下一階～2階建ての施設にする、③建物規模の見直し、④基本的に旧図書館の基礎はそのまま利用して掘削は行わない もう一度建物の規模や、設置箇所の再検討をお願いしたい。	
8	結局市は説明会を開催したというポーズだけで、市民や近隣住民の要望は全く聞いていないのだなと感じた。近隣住民にとっては日常生活にも大きく関わる問題もあるため、しっかりと近隣住民の要望を取り入れてほしい。	
9	昨年採択された陳情（陳受4第9号）の第3項（近隣住宅への十分な日照確保）が無視されている。民主主義の根幹を侵す計画案であり改善してほしい。	
10	行けばホッとする、子どももあそこなら行きたいと思えるスペース作り、堅苦しくない内装をお願いしたい。緑があると良い。	

11	急にトイレを使いたい時公共施設に入る事もあるので、入口に近く分かりやすいと助かる。	年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した施設を目指します。エントランスフロアにはインフォメーションスペースを設け、来館者への施設の案内を行います。
12	高齢者または機能障害者を視野に入れたスロープ、手すり、エレベータ等考えられていると思います。	
13	新棟では、廊下などを広く確保し、車いすやベビーカーも通行しやすい建物としてほしい。	
14	新施設が障害のある方にも理解しやすく、利用しやすい構造であるとよい。わかりやすい案内表示等も重要であるが、文字が読めない、表示の意味が理解しにくい方でも気軽に分からないことを尋ねられる窓口が設置されていると安心して利用できる。	
15	案内図の文字の字体を大文字で見やすくしてほしい。	
16	足、特に膝に障害のある人は上りエスカレーターより下りエスカレーターを必要としている。	
17	東側にある公園と行き来ができるようにしてほしい。	新施設から東側市立公園（うさぎ山公園、わんぱく公園）へアクセスできるよう検討を進めていきます。
18	子どもだけでも来られそうな施設、子ども子育て世代が通いやすい施設にしてほしい。	子どもと子育て家庭が気軽に足を運ぶことのできる、オープンな居場所機能を設置します。子どもの居場所は、子どもが自由に来所でき、自分の意思で自由に過ごせ寛げるオープンなスペースを検討しています。また、常時子どもたちとコミュニケーションがとれる年齢の近い大人の配置も検討しています。
19	「子どもだけでも訪れやすい環境」とはどのような環境になるのか興味がある。	
20	多目的トイレやシャワールームとシェルター施設などの充実させてほしい。	各階に男女別トイレのほか、多目的・多機能トイレ（車いす・オストメイト・ジェンダー等対応トイレ、親子トイレ、おむつ替えスペース、着替え台など）の設置を検討します。来館者用のシャワールームは運動強度の高い講座やイベントなどは行わないため設置は予定していません。シェルター施設については、設置する予定はありません。
21	相談室のスペースが広くとられているところが良いと思う。	相談しやすい環境の整備に努めます。例えば防音性能の確保やベビーカーに対応する十分な広さの確保、プレイセラピーや作業・理学療法に対応するなど様々な相談に対応できる設えとするほか、ご意見を踏まえ1階にも相談室を設置し、相談者のニーズに合わせて柔軟な運用に努めます。
22	相談室は1階フロアにも少しでもあると良いと思う。エレベーターがあるとはいえ、妊娠中の方等少しでも垂直移動を減らした方が気持ちも楽な方もいるので、場合によって使い分けられると良い。	
23	各階への移動手段でエレベーターが1基のみだと待ち時間が長くないか？	エレベーターの設置は、利用者数を考慮して計3台（増築棟2台、既存棟1台）を計画しています。
24	エレベータを二か所に設置するのは使い方が異なるということか。	

25	屋上緑化は検討しているのか。	敷地面積の20%以上の緑地面積を確保するなかで検討していきます。
26	「暗い、古い、狭い」保健センターのイメージが強いので日の光がたくさん入るような大きな窓で明るくなることを期待している。	ご意見を参考に、今後実施設計において検討を進めていきます。
27	健康課と子ども支援の窓口が同一フロアに置かれている点は良い。	
28	来館者（特に子ども）が増えることが想定されるため、安全対策や防犯機能があるとよい。	
29	スウェーデンなど北欧の施設を参考にしてほしい。	
30	デザイン性より機能性重視して作ってほしい。	
31	きれいで、やわらかい感じのする建物、場所であるとよい。	
32	道路からの段差をなくしてほしい。	
33	武蔵境のプレイスはとても利用しやすいし、立ち寄りやすいスペース。あの様な雰囲気だと市民の方も立ち寄りやすいと思う。	
34	建物としても魅力的なカッコいいデザインを希望する。外観は勿論、吹抜けを設けてもいいと思う。基本的な機能はクリアをしているとして、デザインの面からもコンペをして、デザイン力のある設計事務所を選定してほしい。	
35	自動販売機などほしい。災害対策用のものであるとよい。（2名）	
36	自動で入れられる自転車の空気入れがほしい。	
37	使用済みオムツを施設で捨てることができるととても助かる。	
38	女性専用スペースはしっかり残してほしい。子どもへの性犯罪は多目的トイレで起こりやすいので人目につきやすい場所に設置してほしい。	男性用・女性用・多目的・機能用と各種トイレを設ける計画とし、設置場所については実施設計を進めるなかでご意見を参考とさせていただきます。
39	一室が広くオープンな部屋が良い。	使い方の変更に対応できるように、また非常時に転用をしやすいうえ、広くオープンな諸室を設けてます。一方で相談室などプライバシーに配慮した諸室の確保も行います。
40	水道管の改修から始まったことなので、また次に改修するときの策などは考えているか？	ご指摘のとおり当事業は「既存建物において事業を継続しながらの給排水管更新工事が困難である」ことが大規模改修を行ううえでの課題でした。このことから新施設においては、配管スペースの分散配置や配管スペース近接への給排水設備の集約等を予め行うことで、給排水管の更新が必要になった際にも工事範囲以外で実施している事業を継続しながら改修ができるように、将来の工事を見据えた設備設計を進めています。

12. アクセス、交通に関すること		
No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	子どもを連れて利用しやすいよう広めの駐輪場がほしい。	新施設は保健センター、子どもと子育て家庭への支援施設、教育支援センターの各機能が集約されることなどから、子ども載せ自転車にも対応したスペースを確保していきます。
2	駐輪場は来館する人数にあった台数を確保してほしい。(4名)	
3	子ども乗せ電動自転車での来所も多いと思う。大型自転車にも対応するなど駐輪場のスペースをしっかりと確保してほしい。屋根があると嬉しい。(5名)	
4	ハビットをよく利用しているが、交通の便が悪いので、保健センターの場所の方がまだ行きやすい。	来館者向け障害者用駐車スペースを2台分確保し、原則は公共交通機関・自転車・徒歩で来所いただくことを想定しています。なお3駅(吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅)からのバス停が徒歩5分圏内にあります。本計画で複合化する主な機能は、現在保健センター・市役所・大野田小学校にありいずれも中央圏にある市の拠点施設です。各地域で行っている健康増進事業や各地域にある0123施設やみどりの子ども館、児童館などの機能は継続します。
5	駅から少し離れた場所になるので、移動方法について配慮をしてほしい。ムーバスのルートができるとうれしい。(5名)	
6	駐車場のスペースが少ないように感じる。雨天時には車利用をしたい。(2名)	これまでどおり既存建物地下1階を関係者及び庁用車の駐車スペースとし、関係者用駐車スペースは4台程度確保しています。
7	施設から遠距離に住む市民は利用しにくい。市内どこからでも行きやすいようにムーバスを通すなどアクセスをよくしてほしい。もしくは各地域にも同様の機能がほしい。(6名)	
8	健診のため来館する医師や歯科医師用の駐車スペースはこれまでどおり必要。公共交通機関を利用する場合には診療時間の確保ができない。	

13. 工事に関すること		
No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	第一中学校の建替業者が決まらなかった状況があり、この工事もできるのか疑問に思う。	ご意見のとおり、近年の社会情勢から公共工事についても入札不調のリスクが高く、新施設の発注時期までの期間においても引き続き状況が変化していくものと推察されます。このことから、建設業界等の動向を注視しながらより円滑な工事発注ができるよう努めていきます。
2	建物増築による生活用水の増加に伴い処理能力を超えて150mmを超える風水害があった場合どんな影響がでるのか？	東京都では想定最大規模の降雨(総雨量690mm、時間最大雨量153mm)があった場合、保健センター周辺の地域においては下水道の処理能力を超え、2.0~3.0mの浸水深となる浸水被害が発生すると予想しています。(参考:武蔵野市浸水ハザードマップ)。保健センターの増築に伴う生活排水の増加は想定最大規模の降雨量と比較して割合としては小さいため、ほぼ影響はないと認識しています。
3	近隣住民や周辺の施設や学校に配慮し、工事中の騒音や振動・交通渋滞・騒音などに十分注意してほしい。(2名)	工事にあたっては、敷地周辺住宅の居住環境に配慮し、敷地周辺地域の居住者の理解に努めます。また通行者等の安全を確保します。

14. その他		
No	主な回答内容 ※ () 内は複数名のご意見をまとめた場合の人数	市の考え方
1	多世代や障害者、それぞれの境遇、立場の人たちが利用、交流ができる場所であってほしい。お互いの交流が生まれるような施設であるよう工夫すべき。施設としての機能だけでなく、利用者同士が支え合える場所にしてほしい。元気で健康に長生きできるような場所を提供し、市民が気軽に使用できる施設になるよう期待する。(5名)	<p>新施設は基本理念を「全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点」としています。人生100年時代を支援する施設として、さまざまな世代に対応した各種健(検)診や健康づくり支援事業を実施するとともに、子どもと子育て家庭への支援を行う総合拠点としての機能も整備します。また、新型感染症や災害時医療などの健康危機管理対策を推進するための環境を整備します。こうした幅広い世代がいつでも来られるオープンな居場所としてのロビーラウンジを中心に、ヘルスプロモーションスペースや軽運動のできるアクティブスペース、子ども子育て支援施設や子どもの居場所等を配置します。</p> <p>この施設だけで、健康・福祉・子ども・教育といったすべての機能を一つにすることはできませんが、それぞれの機能の連携・協力をこれまで以上に進められるよう、引き続き取り組んでいきます。</p>
2	子育て世代対象に偏った用途になっている。市民が生涯を通じて健康支援を受けられる施設にすべき。介護や保険証の疑問はここでは解決しないということか。「子ども以外は保健センターまで行ける健康な人だけ」が対象というのは納得はいかない。シニアにとっても利用しやすい施設を期待する。子育て支援と高齢者支援のシナジーを考えられるとよい。(6名)	
3	誰でも安心して利用できる施設としてほしい。特定の世代(子ども、中高生、子育て世代、中高年、高齢者など)を対象にすることや特性(健康状態、障害の有無、独身など)による利用のしにくさがないようにしてほしい。(8名)	
4	見た目豪華なこんな施設あります。とりあえずあります感。保健所があるほうがいいのではないか。カフェや展望室や自習室など併設する事で施設の認知度が上がり市民の目が向き有効な施設となれる。今の保健センターは活気がない。こそこそ行く感じで知る人ぞ知る人が利用するだけ。	
5	無理にいろいろ詰めこまないほうがよいと思う。	
6	保健所の役割に期待する。 ※市補記	
7	武蔵野市としての保健所を設置すべき。何故武蔵野市は東京都の直系管轄となっているのか？	

8	保健センター（保健師・管理栄養士）と健康づくり事業団（医師・看護師）の職員を増員してほしい。	市民のニーズが複雑化・多様化し、職員の資質向上が求められていると認識しています。外部研修などを活用しながら、必要な資質向上を図り人材育成に努めます。
9	周りを不愉快にする人への迅速に適切な対処を取れる組織としてほしい。	
10	人材が一番重要と思う。人材育成が今からでも必要。（2名）	
11	役所仕事ではなく、サービス精神あふれる対応。	
12	妊娠、出産を機によく利用しており、勿論いい方もいるが保健師・栄養士・助産師に態度が悪い人が見受けられる。気持ち良く過ごせるよう職員の教育をお願いしたい。	
13	少子化問題を解決する為には、子ども子育て支援施設は必要と思う。	子ども一人ひとりの健やかな成長のため、また安心して子育てができるよう妊娠期から切れ目のない支援を実施します。
14	障害のあるなしに関わらず、すべての子どもと親が安心して利用できる施設であってほしい。	
15	子育て重視はたいへん結構だと思う。	
16	市のサービスだけでなく、民間や他団体との連携を強化し、サービス向上をしていくと良い。	民間事業者・医療機関・関連団体などと連携した事業運営を進めていきます。健康づくり支援団体、子育て支援団体、子どもの居場所づくりにかかわる団体を対象とする団体支援スペースを設置し、団体活動を支援するとともに、市と団体、団体同士の連携を強化します。
17	利便性が良くなると思う。	保健センター機能配置（案）へ賛同の意見をいただきありがとうございます。今後も新施設を利用する市民、近隣住民、関係団体の皆さんの意見をうかがいながら設計を進めていきます。
18	若い世代では、個が重要になり地域でのつながり薄くなっている。ある意味、建物をつくり、参加しやすい窓口をつくるのは、いい方法になる。	
19	良くできている。賛同する。（3名）	
20	武蔵野市がさらに住みやすく良い環境になりそう。	
21	新施設の配置案は細かくて見にくい。字が多い。（2名）	今後皆様のご意見をうかがう際には、よりご理解いただきやすいようにします。
22	配置案に辿り着けなかった。	
23	どのような機能配置になるかがわかりやすい。	
24	子どものいない家庭が利用できる場所は無いなど感じた。健康診断も勤務先指定の健診センターがあり、利用する必要がない。	健康づくり支援、介護予防などの事業にも取り組んでいることを周知し、「健康づくりをしたい」と思われたときに利用していただけるような施設にしていきます。

25	目に見える施策が欲しいと感じた。	
26	利用しにくそう。ワクワクするものが何もない。宝の持ち腐れになる。	
27	必要ない。	
28	いいと感じたことは何もない。建物の規模が大きすぎる。利用するのは一部の時間に余裕がある平日利用できる人だけでその他は何も恩恵を受けていない。そもそも施設の老朽化が早すぎる。配管工事が問題ならばその部分だけ改修すればよい。緊急時には公園等広場に簡易的な建物を作って対応すればいいのではないか。大きなエントランスフロアは必要ない。	
29	新しい保健センターの増築は、ここまで大きな規模は必要ない。建替えるにしても規模を縮小してほしい。せめてフラットな2階建てにしてほしい。説明会でも、市民、近隣住民の要望は受け入れていなかったことが気になる。	法律改正等による保健センターの役割の拡大、新型コロナウイルス感染症への対応などにより、施設面積が不足しているうえ、保健センターで実施する母子保健事業と複合化する子ども子育て家庭を支援する事業との連携は、国の方向性とも一致しています。保健衛生機能の充実を図ったうえで、子どもと子育て家庭への支援施設を含む複合施設として整備を行うには、本計画の規模が必要と考えています。また、保健センターで土曜日に実施している事業としては、このとり学級（土曜日・初妊婦とパートナーを対象にした各種講座）やがん検診（土曜日・胃がんエックス線、肺がん、乳がん）などがあります。新施設では土日に行う事業の拡充を検討しています。
30	資材高騰により当初公表40億円では計画実施できない。設計を見直し増額しないように工夫してほしい。	事業費については、今後具体的な設計を行うなかで精査をしていきます。
31	一般市民は何をやっているところか分かりにくい。	保健センターは、市民の皆さんが健康な市民生活を送れるよう総合的な健康づくりを推進する保健衛生の拠点施設です。新施設はこれに加え感染症対策・災害医療支援策拠点として、また妊娠期から切れ目なく子どもと子育て家庭への支援を行う総合拠点として整備を行います。多くの方にご活用いただけるよう分かりやすい周知・広報に取り組んでいきます。
32	当事者の意見をしっかり聞いて計画してほしい。	今後実施設計を進めるなかで、引き続き新施設を利用する市民、近隣住民、関係団体の皆さんの意見を取り入れながら、より具体的な検討を進めていきます。なお、現時点では以下のとおり、子どもの意見を聴取しています。
33	子どもが利用するスペースもあるが子どもや子どもの親の意見は取り入れられているか。チャレンジルームがこの施設に入ることやどのフロアがいいかなど子どもたちの意見は反映されているか。（2名）	・子どもの権利擁護機関：子どもに向けたチラシ「こどものけんりってなあに？（第7号）」を通じて、諸室の設えイメージや利用希望時間帯、相談ツール等についてアンケート調査を行いました。 ・チャレンジルーム：チャレンジルームに通う子どもたちと保護者にはアンケートを実施しました。チャレンジルームでの活動の希望などについて子どもたちの意見を聞き取って今後のチャレンジルームの活動に反映していきます。 子どもの居場所：武蔵野プレイス地下2階と桜堤にある児童館で直接子どもたちからヒアリングアンケートを実施し、参考にしました。

34	ハード面は運営しないと分からない。開設後、市民やその他の人達にどのように「参加」してもらうのか、考えているのか。出来上がってからでは遅いと思う。	新施設の各事業に市民が利用・参加しやすい施設となるよう設計において機能に考慮した配置を検討していきます。開設後においても常に市民目線の視点で、事業を進めていきます。健康づくり支援団体、子育て支援団体、子どもの居場所づくりにかかわる団体を対象とする団体支援スペースにおいてボランティアや団体の活動を支えることで、市民の方の参加を促します。
35	保育コンシェルジュの方への相談や、医療費の償還払いやベビーシッター利用支援事業の交付申請書受付などお金に関わることもできるとありがたい。本当は市政センターで出来ると良い。	ご意見を踏まえ、検討を進めていきます。
36	講座の抽選落選者が多い、人気の講座は定員や回数を増やすなど見直しをお願いしたい。	市健康課と武蔵野健康づくり事業団の講座は、健康づくりのきっかけとして、多くの市民に利用していただくため、初回利用者を優先している講座もあります。回数や定員等の見直しについては今後の課題として検討します。
37	施設を作るだけでなく、本当に助けが必要な人たちに助けが届くように職員が積極的に外に出ていくようにするべきだと思う。	相談窓口に来ることが難しい子育て家庭がより身近な地域で相談ができるような支援（常設の子育てひろばやコミセン親子ひろば等）や適切な訪問支援を実施します。施設内の連携だけでなく、本庁や関係機関との連携強化にも努めるとともに、外部研修などを活用しながら、人材育成にも努めます。
38	市民ではなくても、誰でも自由に利用できるのか。市民専用のスペースがあるのか。	ロビーラウンジは市民の方以外のご利用も想定されますが、乳幼児健康診査エリアやチャレンジルームなどは市民の方を対象としたスペースになります。
39	遊び場を期待する。 ※市補記	基本計画に基づき、今後も新施設を利用する市民、近隣住民、関係団体の皆さんの意見をふまえて検討していきます。
40	親のサポートの充実。親の会のサポート事業を実施してほしい。 ※市補記	
41	もっと早くから複合化にすべきだった。	
42	保健センター新施設の機能配置（案）賛成。	
43	新しいタイプの取り組みを大いに期待する。	
44	メンタルヘルスの相談を各世代別に相談コーナーを設け、同じ悩みを持つ人同士が交流できる機能をもったら良いと思う。ここに来れば何か道が開けると希望を持てるように、相談者も臨床心理士などの専門職以外に、僧侶や牧師、教職経験者、スクールカウンセラーなど相談日を設けてオープンするのもよいと思う。	
45	軽運動室と相談室と倉庫などがあっていいと思う。	
46	他の市や区のモデルとなることを期待してい	
47	何事も常識に囚われず、時代に合わせてクラッシュ&ビルドで常に進化を目指してほしい。	

48	全体的な計画としては良いと思うが、中央図書館跡地が何年も放置され、もっと早くに立案されれば良いと思った。	同上
49	コミュニティ協議会の活動が一助になれば幸い。	
50	施設に来られる皆さんが楽しめる施設になる事を望む。	
51	正に、「健康」「子育て」を総合的に支援するセンターになると思う。「どこに相談したらいいか分からない」と言われることがないようなセンターにしてほしい。	
52	少子化、核家族、共働きの時代、子どもを産んで子育てに専念する期間は長い。夫婦、またはシングルマザー、ファザーでも安心して育てられるような環境、協力し合う体制が必要だと思う。人生100年の時代、高齢者支援センターは充実し利用者も多いようだ。未来を担う若い人達、子ども達のためにも新施設は絶対必要だと思う。	
53	健康づくり事業団で実施している人間ドックで配付されるクーポンが「やさい食堂 七福」のテイクアウト商品でも利用できるとよい。	保健センターに新設される子育てひろばの他に、市内の常設の子育てひろば（乳幼児施設）は、現在8か所あり、今後も子育て家庭が歩いて行ける距離に整備していくことを計画しています。 また、市内16か所のコミュニティセンターにてコミセン親子ひろばを定期的に開催しており、より身近な場所での支援についても整備を努めます。
54	「やさい食堂 七福」で実施している市民の健康を支援するセミナーへの協力も継続できるとよい。	
55	施設機能を集中（複合化）することの問題点なども明確にして準備をしていってほしい。	
56	市政が若い世代をサポートする方向へ向かっていることは、とても良いことだと思う。だが個人的には一極集中型ではなく、市内いたるところに子どもの居場所・親のたまり場があり、それらが健全に運営されている方がより一層市民にとって住みよい町となるのではないかと思う。 ひとつの建物にさまざまな機能を持つ施設が併設され連携する、それはコスト面でも省エネであり、そこから生じるアイデアやエネルギーは計り知れないものであろうと想像できる。しかしながら、それが誰もが平等に恩恵を被れるような、そのような施設でなくては何の意味もないのではないかと切に思う。	
57	子育て支援は、補助金を配布したり、支援策を増やすことより、若手が未来に希望をもち、結婚したい、子どもを作りたいという社会を実現することが根本的な対策と思う。 昔の日本は所得が少なくとも、もっと早く結婚して、子どもも多かったのは何故か、ということに立ち戻って、行政の施策を遂行してほしい。	

58	子どもの権利が大事にされてほしい。	ご意見のとおり、子どもの権利条約の考えや武蔵野市子どもの権利条例について、市民周知を進め、子どもの権利が尊重されるまちづくりを進めていきます。
59	<p>子どもの権利条約には考えさせられる。成果を出さなければならない役人が、こんなことあんなこと書いときゃいいでしょ目線で作られた、お行儀の良い子どものための権利条約のように感じる。</p> <p>子供同士のトラブルの場合、どちらもの子どもの人権を守る、のは、不可能に近いのではないか？様々な出来事がいじめや不登校の原因になりえるが、そのそれぞれを精査して、この条例は作られたのか？</p> <p>子どもの人権を守る、その大切さはわかるが、その守られるべき子どもを産んだ、また育てている大人のことを保護する、または支援する、などの手立ての実現のほうが先に来てほしい。心の貧しい親に育てられている子どもたちを救ってあげたくても、そもそも、心を育ててもらった環境に置かれたことがないので、何をしても響いてはくれない。</p>	<p>1989年に国連で採択された子どもの権利条例に規定されている子どもの最善の利益の実現に向けて、本市でも条約の主旨を踏まえた子どもの権利条例を制定しました。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
60	武蔵野市は面積が小さく道路などのインフラ整備にはお金がかからないイメージで、小中学校の改修が一段落してきたのであれば保健センターの改修に取り組むべき。	ご意見のとおり、今後も公共施設等総合管理計画に基づき、必要な更新・改修等を行っていきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。
いただいたご意見は、今後新施設の設計や運営を行う参考とさせていただきます。

保健センター増築・複合施設整備 アンケートのお願い

期間 令和5. 6.15 木 ~ 7.18 火

武蔵野市では、保健センター（武蔵野市吉祥寺北町4丁目8番10号）を増築・大規模改修後、子どもと子育て家庭への支援に関する機能を加えた複合施設として整備（令和10年度開設予定）する計画を進めています。

新たな施設は、「全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点」として整備を行います。保健センター機能の充実、また子どもと子育て家庭への支援に関する機能の複合化により、健康や子どもと子育て家庭に関する様々な相談ができる窓口や情報を入手できるインフォメーションスペース、軽運動室、子育てひろば、子どもの居場所、また非常時には感染症対策拠点、災害時医療支援拠点となることなどを予定しております。この施設において皆さんが利用する機能の使い方や配置などについてアンケートを実施いたします。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



アンケート回答方法

右の二次元コードから
WEB(市ホームページ)にて
ご回答ください

市ホームページからのアクセス方法：トップ
ページ⇒市政情報⇒意見募集・アンケート
(https://www.city.musashino.lg.jp/shiseijoho/ikenboshu_enquete/1044244.html)



※アンケート用紙での回答を希望される場合

各施設・窓口で本アンケートに関する質問等には回答できません。
ご不明な点は企画調整課(0422-60-1970)にご連絡ください。

(1) 用紙配布窓口 下線の施設・窓口は配布のみ。提出はできません。

- ①保健センター（健康課(1階),
(公財)健康づくり事業団(1,2階))
- ②市役所（総合案内(1階),企画調整課(南棟6階),子ども子育て
支援課(南棟3階),障害者福祉課(南棟1階),教育支援課(南棟5階))
- ③子育て支援施設(0123吉祥寺,0123はらっぱ,桜堤児童館など)
- ④教育支援センター ⑤みどりのこども館
- ⑥各市政センター ⑦各図書館 ⑧各コミセン

(2) 提出先

- ①用紙配布窓口 ※市役所総合案内,各市政センター,各図書館,各コミセン除く
- ②企画調整課 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
FAX 0422-51-5638

市ホームページ

市ホームページでは、

- ・整備の経緯
- ・事業スケジュール
- ・今後の整備状況
- ・武蔵野市立保健センター増築及び
複合施設整備基本計画(令和4年度)
- ・武蔵野市立保健センター機能充実
検討有識者会議報告(令和4年度)
- ・武蔵野市子どもと子育て家庭への
支援のあり方検討有識者会議報告書
(令和3年度)

など、随時お知らせしています。



お問い合わせ

武蔵野市総合政策部企画調整課
保健センター増築・複合施設整備担当
TEL 0422-60-1970

新施設の機能配置(案)

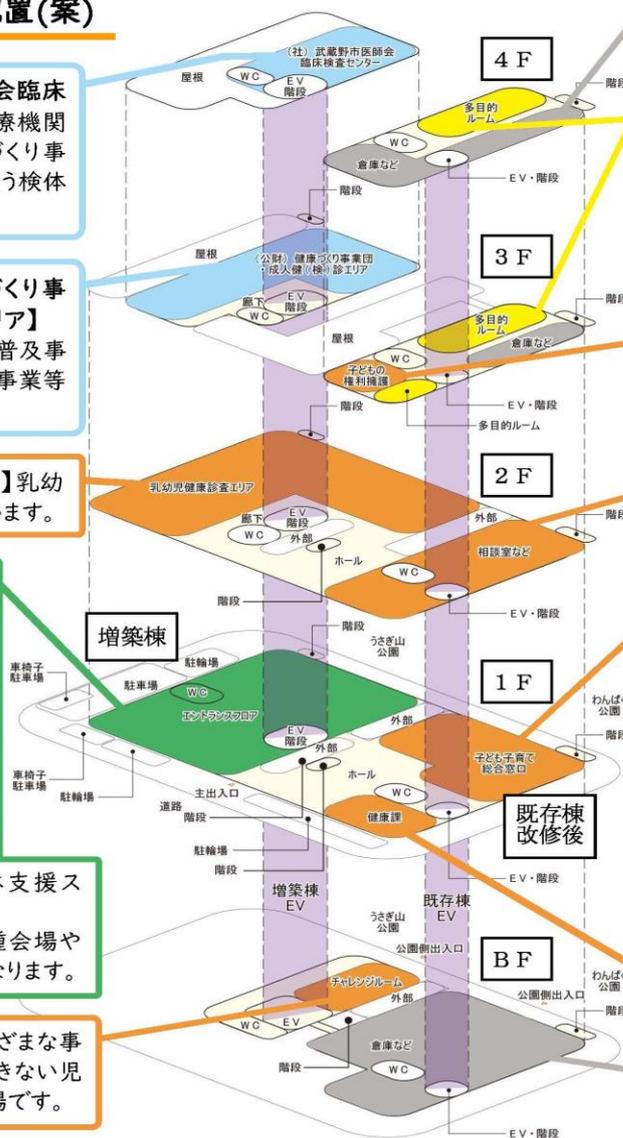
【(一社)武蔵野市医師会臨床検査センター】市内医療機関や(公財)武蔵野健康づくり事業団、学校健診などで扱う検体の検査・分析を行います。

【(公財)武蔵野健康づくり事業団・成人健(検)診エリア】健康増進に関する啓発・普及事業、各種健診事業、検査事業等を行います。

【乳幼児健康診査エリア】乳幼児の各種健康診査を行います。

【エントランスフロア】誰もが入りやすいオープンなスペースとします。健康や子ども子育て家庭に関するインフォメーションスペースのほか、軽運動室、子育てひろば、子どもの居場所、健康づくり推進員や子育て支援団体などの活動拠点となる団体支援スペースなどを整備します。非常時にはワクチン接種会場や災害時医療支援拠点となります。

【チャレンジルーム】さまざまな事情で学校に行くことのできない児童生徒のための学びの場です。



【倉庫など】感染症対策衛生用品備蓄倉庫などを配置します。

【多目的ルーム】講演会、研修会、会議(関連部門会議<カンファレンス>など)等を行います。非常時にはワクチン接種事務や災害時医療支援拠点となります。

【子どもの権利擁護機関】子どもの権利の侵害の救済に取り組む機関です。いじめや不登校、対人関係等、子どもに関する困りごとを子どもが直接相談できます。

【相談室など】相談内容にあわせ、多様なニーズに対応できる相談スペースを設けます。

【子ども子育て総合窓口】子どもと子育て家庭にとって分かりやすく相談しやすい総合的な窓口を設置し、妊娠期から子どもが18歳になるまで切れ目のない支援を行います。※現在の健康課母子保健係【保健センター】、子ども子育て支援課子ども家庭支援センター【市役所】、教育支援センター【大野田小学校】を集約します。児童発達支援センター【みどりのこども館】とは機能連携を行います。

【健康課】各種健康診査・がん検診・予防接種の受付、健康相談などの保健事業を行います。

【倉庫など】災害時医療資器材備蓄倉庫などを配置します。

なぜ保健センターを増築したうえで複合施設として整備するの？

- ・北側敷地(旧中央図書館跡地)に増築し、増築棟に保健センター機能を移転させ、事業を継続します。
- ・保健所からの事業移管や災害時医療対策の充実、新型コロナウイルス感染症への対応などによる保健センター施設の面積不足を補うため、増築棟と既存棟を一体利用し施設面積を確保します。
- ・健康課【保健センター】、子ども子育て支援課【市役所】、教育支援センター【大野田小学校】を新施設に集約し、児童発達支援センター【みどりのこども館】とは機能連携を行うことで、妊娠期から子どもが18歳になるまでの様々な相談ができる窓口を設置します。

増築や機能の複合化がされることで、どのようなことが実現されるの？

- ・乳幼児健康診査エリア・成人健(検)診エリアは、受診者の動線等に配慮した安全安心かつ利便性の高い配置とすることで、より受診しやすい環境となります。
- ・非常時にワクチン接種会場や災害時医療支援拠点としても活用できるスペースを確保するほか、感染症対策衛生用品・災害時医療資器材備蓄倉庫を整備し、市民の安全安心につなげます。
- ・妊娠期から子どもが18歳になるまでの様々な相談先が1つの窓口になることで、子どもと子育て家庭が切れ目なく支援を受けられるようになります。
- ・健康や子ども・子育てに関するインフォメーションスペースや団体支援スペース、軽運動室、子育てひろば、子どもの居場所などで様々な利用者や交流をしたり、安心して過ごすことができます。また健康づくり推進員や子育て支援団体などの活動拠点として利用していただけるようになります。

保健センター増築・複合施設整備に関するアンケート

・本アンケートはお名前を記載する必要はありません。・回答はお1人様1回までです。
・令和5年7月18日(火)までに、このアンケート用紙をご提出いただくか、
右の二次元コードからWEB(市のホームページ)にてご回答ください。
・ご提出先については、この用紙の裏面をご覧ください。
・アンケート結果は、市のホームページで公表する予定です。

【お問い合わせ】武蔵野市総合政策部企画調整課

保健センター増築・複合施設整備担当 電話 0422-60-1970



◆ 回答方法 ◆

Q1～7 ⇒ 該当する数字に○をつけてください/Q8～10 ⇒ ご意見を自由にご記載ください

Q1 あなたの性別を教えてください。

- ① 男性 ② 女性 ③ それ以外 ④ 回答しない

Q2 あなたの年齢を教えてください。

- ① 18歳未満 ② 18～29歳 ③ 30～39歳 ④ 40～49歳 ⑤ 50～59歳
⑥ 60～69歳 ⑦ 70歳以上

Q3 あなたのお住まいを教えてください。

- ① 吉祥寺東町 ② 吉祥寺南町 ③ 御殿山 ④ 吉祥寺本町 ⑤ 吉祥寺北町 ⑥ 中町
⑦ 西久保 ⑧ 緑町 ⑨ 八幡町 ⑩ 関前 ⑪ 境 ⑫ 境南町 ⑬ 桜堤 ⑭ 市外

Q4 現在、あなたに18歳未満のお子様はいますか。いる場合は年齢を教えてください。(複数回答可)

- ① 妊娠中 ② 乳幼児(0～3歳) ③ 幼児(4～6歳) ④ 小学生(1～3年生)
⑤ 小学生(4～6年生) ⑥ 中学生 ⑦ 15～17歳 ⑧ いない

Q5 あなたがよく利用する市の施設を教えてください。(複数回答可)

- ① 保健センター(健康相談、妊婦面接、乳幼児健康診査、がん検診、人間ドック、軽運動など)
② 子育て支援施設(子育てひろば、児童館、子ども家庭支援センター(市役所)、子育て相談など)
③ 子どもの居場所(地域子ども館あそべえ、武蔵野プレイス、プレーパーク、公園など)
④ 教育支援センター(教育相談、就学相談など)
⑤ みどりの子ども館(おもちゃのぐるりん、療育相談 など)
⑥ 上記以外(※施設名を記載ください:)

Q6 新施設はユニバーサルデザイン、バリアフリー設備を取り入れた施設としますが、その実現のためには何が重要と考えますか(3つまで選択可) ※ユニバーサルデザイン:言語や国籍、年齢、性別などの違いや障害の有無などにかかわらず、多くの人が利用できることを目指した建築・製品などの設計

- ① 案内表示において、文字が大きく認識しやすい ② 絵文字記号による案内
③ 多言語による案内 ④ モニターを使った窓口の案内 ⑤ スロープや手すりなどの充実
⑥ 段差がなく、通路や待合スペースがゆったりしていて、車いすやベビーカーのまま利用できる
⑦ 親子や高齢者、障害者、LGBTQ+などを問わず、誰もが利用しやすいトイレ・更衣室
⑧ センサー式の蛇口の設置
⑨ 大型の「子ども載せ自転車」に対応するなど利用しやすい駐輪スペース、障害者用駐車スペースの整備
⑩ その他(自由記載:)

裏面に続きます

Q7 新施設は、「全世代の市民の心と体の健康づくりを総合的に支援する拠点」を基本理念としています。「全世代の市民が利用しやすい施設」として、どのような点が重要と考えますか。(3つまで選択可)

- ① 相談が気軽に行えたり、申請がスムーズに行える窓口
- ② 安心して健診・検診が受診できる環境(乳幼児健康診査、がん検診、医療機関からの紹介による検査など)
- ③ 気軽に心身の健康に関する相談ができる環境(医師、保健師、管理栄養士等による相談など)
- ④ 健康づくりや子ども・子育て支援の情報が分かりやすく発信されていること
- ⑤ 子どもを連れていきやすい環境(親子がくつろげる環境、授乳室・おむつ交換場所の設置など)
- ⑥ 子どもだけでも訪れやすい環境(子どもが自由に来所でき、自分の意思で自由に過ごせる環境、子どもが一人でも相談しやすい雰囲気など)
- ⑦ 非常時には感染症対策拠点(ワクチン接種会場など)や災害時医療支援拠点として活用できるスペースを設けること
- ⑧ 市民同士が交流できる場の整備 ⑨ Wi-Fi環境の整備
- ⑩ 同じ状況や境遇の方と情報交換や話などができる機会があること ⑪ 講演会や講座などの充実
- ⑫ その他(自由記載: _____)

Q8 新施設において、保健センター・子ども子育て支援施設・教育支援施設の各機能が複合化、児童発達支援センターとは機能連携がされることで、期待することはありますか。またその他ご意見があればご記入ください。(自由記述)

Q9 別紙「アンケートのお願い」の「新施設の機能配置(案)」をご覧になり、良いと感じた点はありませんか。また気になる点はありませんか。(自由記述)

Q10 その他、ご意見があればご記入ください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

【アンケートのご提出方法】

(1)郵送・FAXの場合 武蔵野市総合政策部企画調整課保健センター増築・複合施設整備担当
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 / FAX 0422-51-5638

(2)ご持参の場合

※各施設・窓口で本アンケートに関する質問等には回答できません。ご不明な点は市企画調整課(0422-60-1970)にご連絡ください。

- ①保健センター:健康課(1階),(公財)健康づくり事業団(1,2階)
- ②市役所:企画調整課(南棟6階),子ども子育て支援課(南棟3階),障害者福祉課(南棟1階),教育支援課(南棟5階)
- ③子育て支援施設:0123 吉祥寺,0123 はらっぱ,桜堤児童館など
- ④教育支援センター ⑤みどりのこども館